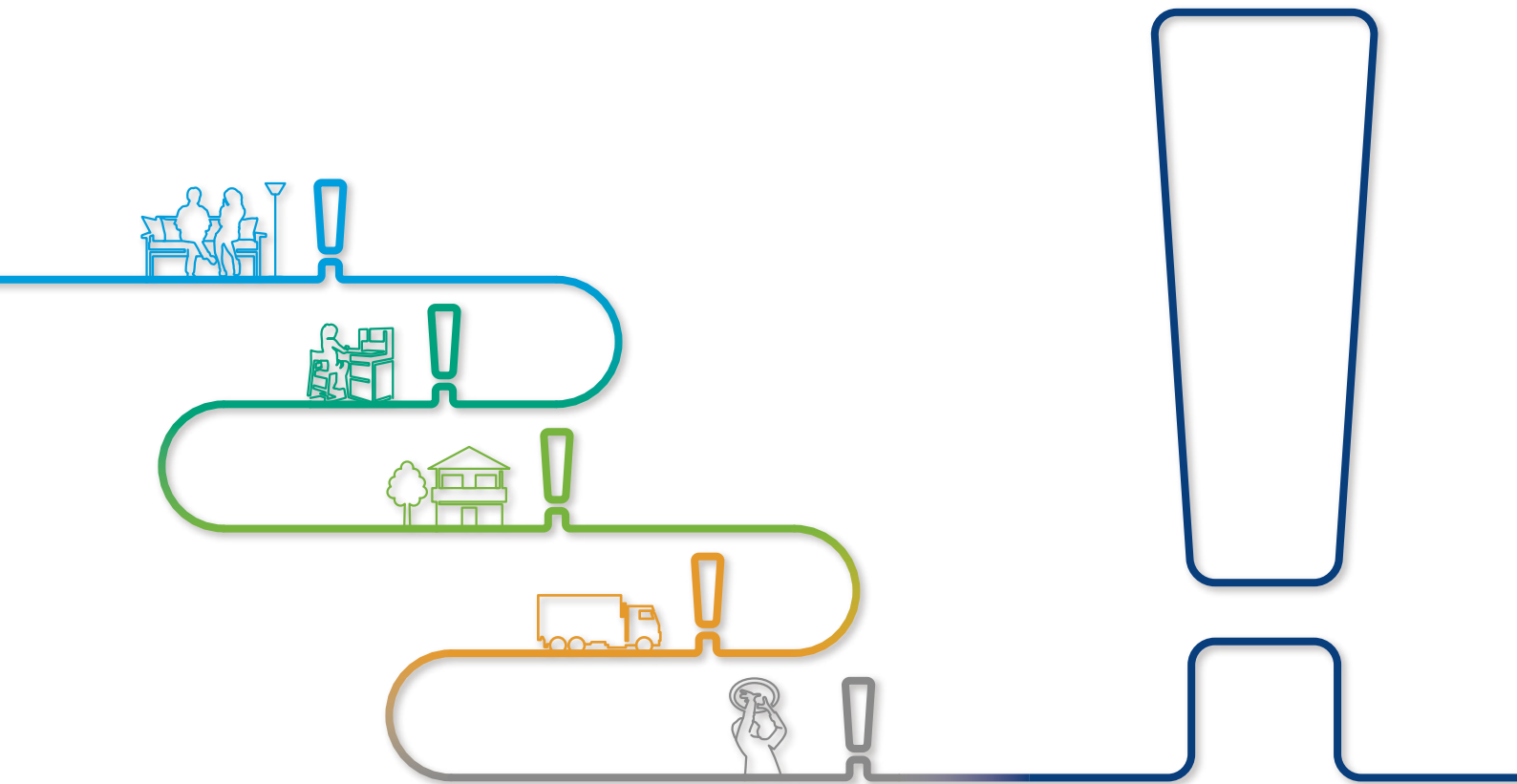




# Communication Report 2016

小泉産業グループ コミュニケーションレポート

# KOIZUMI 4 Keywords

小泉産業グループは、“4つのキーワード”で、ステークホルダーの皆様とのコミュニケーションを広げていきます。

快適な暮らしのための  
さまざまな製品・サービスで。



Ecology  
環境

環境配慮型製品の開発と  
事業活動での環境保全を。

取引先、サプライヤとの  
良好な関係づくりを。



People  
人

従業員はもちろん、  
地域の“人々”に対しても。

# KOIZUMI

## 編集方針

本レポートは、ステークホルダーの皆様とのコミュニケーションのさらなる活性化を目的に、当社グループと社内外のステークホルダーの皆様との“対話”を中心に編集しています。お客様や協力会社様をはじめ社外のステークホルダーの皆様からのご意見・ご要望を掲載するとともに、仕事に対する従業員の想いを多数紹介しています。また、「快適」、「環境」、「パートナー」、「人」の“4つのキーワード”を報告テーマとして設定し、本レポートで展開しています。

## 報告対象組織

本レポートでは、持株会社である小泉産業(株)と国内事業会社5社、合計6社の取り組みについて報告しており、その詳細は以下のとおりです。

■ 小泉産業(株)                      ■ コイズミ照明(株)  
■ コイズミファニテック(株)      ■ (株)ハローリビング  
■ (株)ホリウチ・トータルサービス   ■ コイズミ物流(株)

## 報告対象期間

2015年4月1日から2016年3月31日まで(当社2015年度)。

※一部、2016年度の内容を含みます。

発行日 2016年7月  
(次回発行予定 2017年7月)

## 小泉産業グループについて

### 小泉産業株式会社

本社所在地 〒541-0051  
大阪市中央区備後町3-3-7

代 表 者 代表取締役社長  
梅田 照幸

創 業 1716年(享保元年)

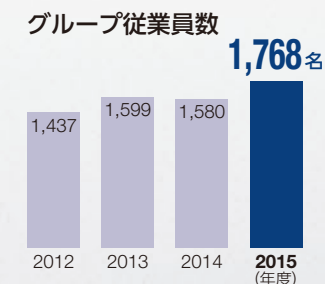
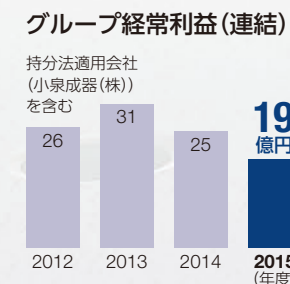
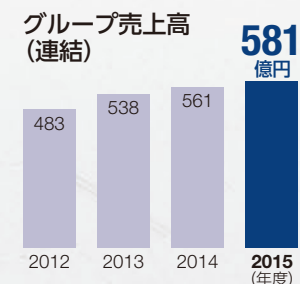
設 立 1943年6月25日

資 本 金 1,575百万円

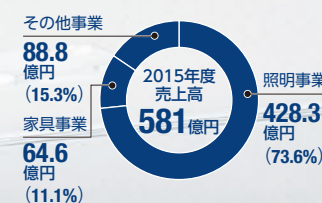
従 業 員 1,768名(連結)

グループ会社 17社  
(うち連結対象13社)

売 上 高 58,176百万円(連結)



### 事業別売上高構成(連結)



### 国内営業所ネットワーク

国内子会社 **9** 社  
国内 **73** 営業所

### 海外営業所ネットワーク

海外子会社 **8** 社

## 目次

- 01 編集方針／報告対象組織／報告対象期間
- 02 小泉産業グループについて
- 03 小泉産業グループの事業
- 05 経営者からのメッセージ

## 特集

- 09 KOIZUMIブランド推進活動
- 11 学習デスク寄贈活動

### コイズミ照明(株)の取り組み

- 13 施設空間照明の新たな価値を創造する  
日本最大の次世代照明制御DALI システムラボ  
「OBAL STUDIO」を開設
- 17 多様な働き方を尊重しあえる職場づくりを推進

### コイズミファニテック(株)の取り組み

- 21 学習家具事業50年の開発・販売ノウハウを発揮し、  
幅広い流通チャネルのニーズに対応
- 25 拡大するコントラクト家具市場でお客様の多様な  
課題解決に向け本格的なビジネスを開始

### コイズミ物流(株)の取り組み

- 29 東西の物流拠点の拡充と一歩進んだ  
運行管理によってお客様、業界の課題解決に貢献

### (株)ハローリビングの取り組み

- 31 コイズミ照明との連携で大型ストック物件の  
LED改修による省エネ化に貢献

### (株)ホリウチ・トータルサービスの取り組み

- 32 ホテル家具のセットアップサービスでも  
グループ企業と協業しトータルなサービスを提供

### 小泉産業(株)の取り組み

- 33 グループ各社の基幹システムを再構築し、  
事業領域における競争優位性の向上を目指す
- 34 省CO<sub>2</sub>を実現する先導的な事業として採択された  
「コイズミ緑橋ビル(仮称)」の建設に着工
- 35 多様な価値観を認めるから  
「「違う発想」が生まれていくコイズミアカデミー
- 37 ステークホルダーへの責任と課題
- 38 KOIZUMI TOPICS
- 39 KOIZUMIブランドのあゆみ
- 41 小泉産業グループ各社の概要

# グループ全体で、快適な空間を提供します

## 照明事業

### 「あかり文化」の創造を目指して

住宅照明と店舗照明を事業領域に、照明器具の企画・開発から各種空間の照明設計までをトータルに展開。あかりによる快適な空間づくりを通して、新しい「あかり文化」の創造と省エネに貢献できる製品の提供を目指しています。

**コイズミ照明株式会社**  
照明器具の企画・開発・製造・販売

**コイズミ照明デバイス株式会社**  
照明器具部品の販売および輸出入  
照明器具組立

**コイズミライティング株式会社**  
照明器具の製造

**青垣コイズミ照明株式会社**  
照明器具の製造

**小泉産業(香港)有限公司**  
照明器具の企画・開発・製造・販売

**東莞小泉照明有限公司**  
照明器具の開発設計・組立製造・販売

**克茲米商貿(上海)有限公司**  
照明器具の企画・販売

**K.L.T.(シンガポール)LTD.**  
照明器具の企画・販売

**ビッツリンクアソシエイツLTD.**  
照明器具・部品の輸出入販売  
照明デザインおよび電気工事



海外 AK PLAZA 百貨店(韓国)



海外 無印良品成都遠洋太古里店(中国)



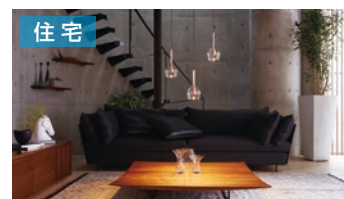
施設 東京タワーフットタウンエントランスロビー(東京都)



施設 学校法人関西学院高等部体育館(兵庫県)



店舗 MAZDA本社ロビーショールーム(広島県)



住宅 協力株式会社 リッツウェル 東京ショールーム(東京都)



## 住設販売事業

### インテリアから家電、内装材まで

各種インテリア製品や内装材などの住宅設備機器の販売・施工サービス事業を全国に展開し、快適な生活空間をトータルに提案しています。

**株式会社ハローリビング**  
住宅設備機器の販売・取付工事

**株式会社サンシャイン**  
住宅設備機器の販売・取付工事



## セットアップ・サービス事業

### 物流の枠組みを超えたサービスを構築

家具・什器・設備などの納品据付、設置のビフォアからアフターまで、さまざまな業界で役立つプロフェッショナルサービスを提供しています。

**株式会社ホリウチ・トータルサービス**  
ホテル、会社施設等への家具・什器・設備等の搬入設置業務



## 家具事業

### 暮らしを「科学」し快適生活を提案

子どもの成長を支える「学習家具事業」を中心に、「書斎家具事業」「シニア家具事業」「ダイニング家具事業」を展開。人と暮らしを「科学」し、健康・安全と環境に配慮した製品・サービスを提供しています。

**コイズミファニテック株式会社**  
学習家具、書斎家具、シニア家具、ダイニング家具などの企画・開発・製造・販売

**小泉家具(大連)有限公司**  
学習家具の販売  
中国地区の品質管理業務

**コイズミファニテック(タイランド)LTD.**  
ダイニング家具の開発設計・製造

**コイズミサンギョウ(タイランド)LTD.**  
家庭用家具・店舗用家具・特注家具・店舗用什器の企画・開発・製造・販売



学習家具



シニア家具



書斎家具



ダイニング家具



## 物流事業

### インテリアから家電、内装材まで

グループ内各社のロジスティクス機能を担う一方、培った経験とノウハウを活かし、幅広い業界のお客様に最適な物流ソリューションを提供しています。

**コイズミ物流株式会社**  
物流事業・倉庫業・物流システム  
開発販売業務



## グループ統括

### 「価値創造の専門集団」を目指して

それぞれの事業領域で専門性を発揮するグループ各社を統括し、KOIZUMIブランドの価値向上を目指しています。

**小泉産業株式会社**  
持株会社として、グループ統括機能と各社の事業の管理・監督



# 創業来のDNAをさらに磨き、 新たな価値創造に果敢に挑戦する 企業グループを目指します

## ブランドステートメントを行動に移し、 成長戦略を本格化させます

先般の熊本地震で被災された熊本・大分両県の皆様には心からお見舞い申し上げます。小泉産業グループは九州地域のお客様と深いつながりがあり、微力ながらグループとして義援金送付の支援をさせていただきました。

さて、2015年度は小泉産業グループにとって1716年の創業から300年を迎えた節目の年でした。創業来、各社それぞれの事業領域を歩みながらも、「三方よし」という近江商人のDNAを受け継ぎ、枠に捉われない創造性と革新性によって人々の暮らしに新たな価値を創造してきたアイデンティティ。それを「\_\_違う発想がある」というブランドステートメントに凝縮し、ブランドロゴも一新して新たな歴史を刻み始めました。

まだ、一步を踏み出したばかりですが、グループ全社全部署の一人ひとりが、「自分たちが提供できる他社と違う価値とは何か」を日々自らに問いかける中から、今後、大きな変革が生まれてくると期待しています。

2016年度も、創業来、培ってきたDNAをベースに新たな価値創造に挑戦し、激変する市場環境に立ち向かい、新ブランドへの信頼向上とグループ売上1,000億円に向けた成長戦略の実行に取り組んでまいります。

小泉産業(株)  
代表取締役社長  
コイズミ照明(株)  
代表取締役社長  
梅田 照幸

## 家具事業におけるタイの自社工場保有など、 新市場開拓への土台を構築した1年

振り返って、第四次中期経営計画(2015-2017)の初年度にあたる2015年度におけるグループ全体の収支は、増収減益となりました。厳しい市場環境の中で、増収という成果を挙げられた一方、家具事業におけるタイの製造工場の買収による自社工場化、物流事業における大阪事業所の移転・拡大による過渡的な損失などにより減益となりましたが、いずれも新しい市場開拓に向けた土台づくりと認識しております。

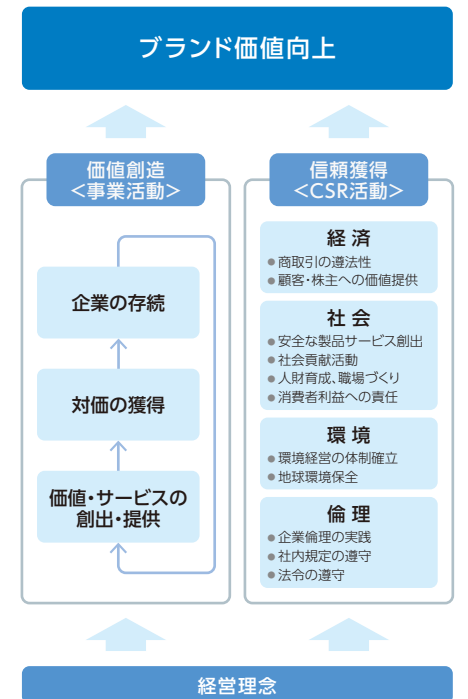
事業別では、家具事業については、学習家具以外の構成比を高めるべく取り組んだ、コントラクト家具市場に向けたB to Bビジネスの足掛かりができた年でした。施設向け家具の展示会へ出展するとともに、初めて自社工場を持ったことで、納期・コストを含めてお客様に役立つ体制が整いました。素材や塗装など環境や健康への配慮という点でも、メーカーとして責任を持ち、価格だけではなく価値をご提供してまいります。

2014年度にグループに加わった(株)ホリウチ・トータルサービスは、ホテルや商業施設などへの家具・什器などの納品・据付などで実績を持っています。同社との協働によって、コントラクト家具の開発・製造・販売から納品・据付まで自社グループで一貫できる体制を強みに、今後、本格的な事業拡大を目指します。

(株)ハローリビング  
代表取締役社長  
石尾 泰裕

コイズミ物流(株)  
代表取締役社長  
(株)ホリウチ・  
トータルサービス  
代表取締役社長  
権藤 浩二

コイズミファニテック(株)  
代表取締役社長  
川上 隆司



## 国際規格DALI対応を加速化させ、 施設照明におけるお客様の課題を解決します

照明事業については、住宅、店舗・施設へのB to Bビジネスが順調に伸び、特に店舗・施設照明は2桁以上の増収となりました。2013年11月に大阪に開設したLED照明提案型のオープンスタジオ「KLOS（クロス）」における提案が実を結んできた結果と捉えています。KLOSは2015年度のグッドデザイン賞を受賞し、自然光と人工光の融合による空間照明のあり方がひとつのトレンドとして評価されたことを嬉しく思っています。

また、2015年度はショールーム東京「OBAL（オバル）」を店舗・施設向けに特化した大型実験ラボにリニューアルし、新しく市場開発本部を東京に設置して、制御システムを中核とする店舗・施設照明の新たな提案を本格的にスタートさせました。日本以外ではすでに一般的になっている照明制御に関する国際規格「DALI（ダリ）」（詳細はP13～16をご覧ください）に対応できる照明器具をいち早く市場に投入すべく、対応商品を2016年度には約500アイテムにまで増やす予定です。

DALIシステムによる調光制御はパソコンから自由にでき、従来、課題であった回線施工時にかかるコスト、照明設置後の運営コストともに大幅に削減できます。このDALI対応商品を広げていくことで、国内の施設照明市場に風穴を開けたいと考えています。

また、新たなディスプレイ法として、照明制御技術を用いたメディアファサードについても、従来とは違うアプローチで市場開拓していきます。



SEOUL DMC  
DIGITAL CUBE

### 集客効果を高める 映像メディア照明演出 「メディアファサード」

メディアファサードとは、ファサード部分や壁面など屋内空間に複数のLED光源モジュールを取り付け、光の明るさや色合いに変化をつけたり、光そのものを動かしたりして、動的な画像や映像を表示する照明演出のこと。新しい映像メディアの手法として注目を集めています。



### 小泉産業グループの理念

#### 社 是

人格の育成向上

#### グループ経営理念

新しい着眼と独自の発想で  
新たな価値を創造し  
人と社会に夢と感動をつくり出します

#### グループ行動理念

- 積極果敢にチャレンジし、目標を必達します
- 自由活発なコミュニケーションを行い、明るく、元気に、同志とともに進みます
- 互いに学び、人間力を高めます
- 現場、現物、現象を基本に、お客様の課題を解決します
- 三方よしの精神で、信用と信頼の向上を図ります
- 社会規範を遵守し、地域、社会、地球環境に貢献します

#### グループビジョン

私たちは、ゆたかで快適な暮らしを提供する  
愛される“価値創造の専門集団”をめざします

## 社は「人格の育成向上」をベースに 「コイズミアカデミー」をレベルアップします

事業の二本柱である照明、家具に加え、物流、住設販売、セットアップ・サービスの各事業が連携し、一体となって社会に貢献していくために、社は「人格の育成向上」に基づいた人材育成に注力しています。

社員の働きがいや、やりがいを創出するために2011年度からスタートさせたコイズミアカデミーでは、全社員に実施する人間力を磨く「道学」と、各社の業務に役立つ高度なスキルを磨く「実学」の二本立てで実施しています。さらに2016年度は次代の経営陣に求められる資質を明確化し、新たなプログラムづくりに取り組んでいきます。

各社個別の教育プログラムでは、コイズミ照明(株)において、2015年度、女性社員の戦力強化を目指した「女性社員戦力化プロジェクト」をスタートさせました。生活提案を行う企業として、女性が能力を発揮しやすい職場環境づくりに向けて、まず女性社員の数が多いコイズミ照明から、社員自ら課題や改善策を考えるための話し合いを継続させています。今後、グループ全社に波及させ、安倍内閣が経済再生のために展開している3本の矢のひとつ「成長戦略」の政策である「女性の管理職・役員の増加」に、当社グループとしても取り組んでいきたいと考えています。

これらの取り組みを通じて、グループ一丸となって、今後も皆様に信頼・支持されるKOIZUMIブランドの価値向上につなげてまいります。

小泉産業株式会社  
代表取締役社長

梅田 聡 孝

### 「社長と語る会」を継続して開催

経営者と従業員のコミュニケーション活動として、互いの「人となり」「仕事観」を知ることが目的とし、2010年にスタートした「梅田社長と語る会」も6年目の開催となりました。2015年度も、世代、エリア、会社、職種の垣根を越えたメンバー編成により、社長と語らい社員同士が語らう中からさまざまな発見がありました。小泉産業(株)人事室の運営で3回開催し、グループ5社から26名が参加しました。



コイズミアカデミーの  
新カリキュラム「K-MBA研修」  
受講者の皆さんと(大阪)

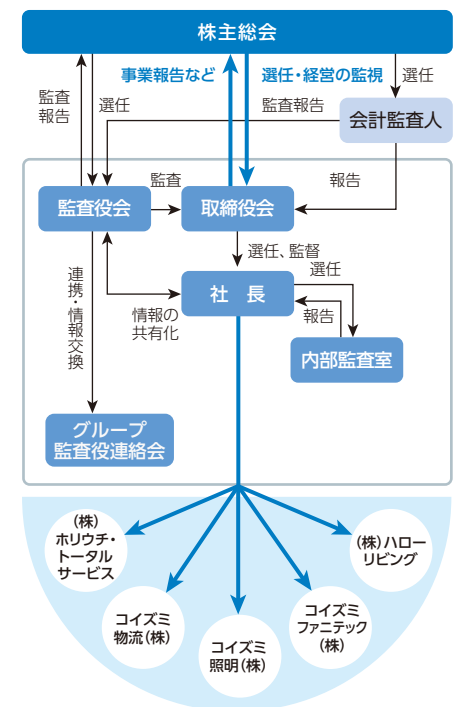


コイズミ照明の30歳前後の  
皆さんと(東京)



小泉産業グループ各社の  
近畿エリアの皆さんと(大阪)

### グループガバナンス体制図



# KOIZUMIブランドを刷新して「\_\_違う発想」を具現化していくために

小泉産業(株)グループは、2015年度にKOIZUMIブランドを刷新し、新しいブランドロゴとステートメントの運用を開始しました。KOIZUMIのDNAを一言に凝縮した「\_\_違う発想がある」というブランドステートメントをいかに具現化していくか。ブランド推進プロジェクトの委員長や各社マネージャが集まり、9月のブランドキックオフ以降の取り組みや現状を共有し、今後なすべきことなどを話し合いました。

## 社内浸透を図るとともに製品やカタログなどを新ブランドロゴに一新

ブランド刷新の原点となったのは、社会が大きく変化する中で、今一度、KOIZUMIブランドとは何なのかを見直し、グループ各社がその本質を共有し、改めて社会に強く発信していくことでブランド価値を高めていきたいという想いです。2013年度に同じブランドを共有する小泉成器(株)とともにブランド推進プロジェクト「One KOIZUMI」を立ち上げ、話し合いを重ねた結果、「あ! これいいナ」と人々に感動をもたらす発想力こそがKOIZUMIブランドの本質であるという認識で一致し、「\_\_違う発想がある」というブランドステートメントが生まれました。そして、ブランドの「共有」から「共創」へと活動のステージを移し、相互に協力しながらブランド価値を高める活動に取り組んでいくことになりました。



ブランド刷新以降、小泉産業はじめ各社においてブランドの説明会などの社内浸透に努めるとともに、製品やカタログ、看板、名刺などを新ブランドロゴに一新し、社外のお取引先やお客様への発信に努めてきました。

## 社員の意識変革のきっかけとなり「共創」が動き出した半年間

今回の座談会に集まったのは小泉産業グループ、小泉成器グループそれぞれのプロジェクト委員長とブランドマネージャ。「個々人がブランドを意識することで、これまでバラバラだった取り組みに共同であたるようになってきた」とキックオフ以降の成果を評価しました。

例えば、2016年4月に実施された新入社員研修は小泉産業と小泉成器による共同開催。ブランドとDNAを共有し、今後ブランド価値を共創していく仲間であることを自覚し合う場となりました。また、同年6月開催の小泉成器の展示会では、One KOIZUMIを意識した共同ブースが設けられ、「会場で両社の社員同士の多層的なコミュニケーションが行われたことが、次への変化への期待感を高めている」との声が寄せられました。社会貢献活動においても、小泉産業が毎年実施

### ブランドステートメント

## \_\_違う発想がある

思いもよらない発想と革新性で「あ!これいいナ」と多くの人々の心を動かす新しい価値を創造し、暮らしを次のステージへと導きます。

### ブランドロゴ

# KOIZUMI



ブランド推進プロジェクト委員長  
小泉産業(株) 専務取締役  
グループ経営統括部長  
権藤 浩二

ブランドマネージャ  
コイズミファニテック(株)  
北川 康文

ブランドマネージャ  
コイズミ照明(株)  
泰 均

ブランドマネージャ  
小泉成器(株)  
大藪 清孝

ブランド推進プロジェクト委員長  
小泉成器(株) 執行役員グループ長  
田村 泰司

している児童養護施設への学習デスク寄贈活動に2015年度は小泉成器も参加しましたが、今後も継続していくことになっています。



さらに、「KOIZUMIブランドを掲げているからには、ワンランク上のモノを作っていかなければならないという気持ちが従来以上に高まってきた」と社員の意識にも変化が見られるようになり、名刺に書かれているステートメントを見たお客様からは「コイズミらしさが出ている」「今後の提案が楽しみ」といった声もいただいています。

## 専門分科会と全社活動を通じステートメントの具現化に継続的に取り組みます

こうした成果を踏まえ、「発信の段階が終わり、今後はステートメントを社員一人ひとりの具体的な行動に落とし込み、商品・サービスとして具現化していく段階に入る」をテーマに、2016年度の取り組みの方向性について意見を交換しました。

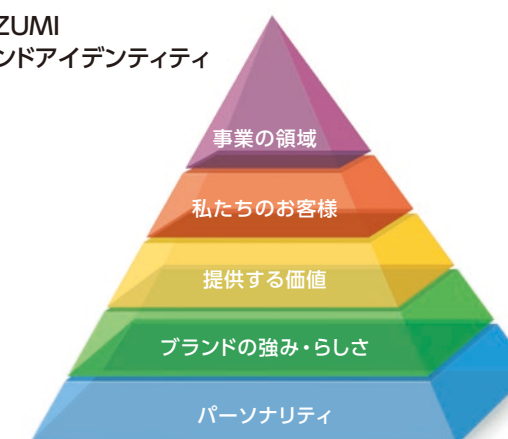
その結果、「社内浸透」「社外訴求」「プロダクトチーム」という3つの分科会を設け、ブランド推進活動を継続していくことを決定。「社内浸透」については全国でブランド研修会を実施して、改めてKOIZUMIブランドの本質とブランド推進の意義への理解浸透を図り、「社外訴求」については、社外への活発なコミュニケーション活動を通してブランドの認知度と好感度向上に取り組んでいくことを確認しました。「プロダクト」についても「なるほど、KOIZUMIの商品だ」と納得いただけるような企画・開発を推進していくための話し合いを継続していきます。



これらの分科会活動を進めると同時に、ブランドステートメント「\_\_違う発想がある」を、全社全部門の社員が各持ち場で実践し、その繰り返しを通じてブランドの価値向上を図り、ステークホルダーの皆様への価値提供に努めていきます。



### KOIZUMI ブランドアイデンティティ



### 事業の領域

ハード、ソフト、コンテンツを新発想でデザインする生活文化創造業

### 私たちのお客様

今の暮らしを大切に、愉しみながら、次のステップに行ってみたい 自分なりのお気に入り、積極的に見つけたい そんな個性豊かな暮らしとその進化を求める人々

### 提供する価値

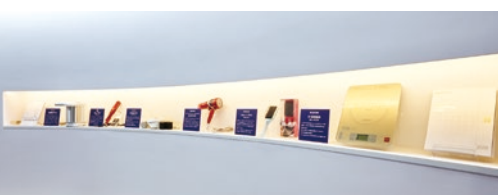
小さな革新の積み重ねとグローバルな視点で「!(おどろき)」を原点に、暮らしのブレークスルーを触発する「ひらめき・ときめき」を提供

### ブランドの強み・らしさ

マインドと知の集積=「人間力」から生まれる、枠にとらわれない創造性と革新性

### パーソナリティ

暮らしへの誠実な視点(思いやる心、温かみ)と未知の世界を怖れない挑戦心、発想の豊かさ



小泉成器の商品を展示した小泉産業本社ロビー



2016年4月の合同新入社員研修



# 5回目を迎えた学習デスク寄贈活動は、小泉成器も加わり、グループの活動としての輪が広がっています

小泉産業(株)は、グループの事業特性を活かした社会貢献活動として、児童養護施設への学習デスク寄贈を続けています。  
5回目を迎えた2015年度は、関東地区を対象に、特に栃木県の施設で実施しました。



## 2015年度デスク寄贈活動・寄贈先

- ① 明和園
- ② 桔梗寮
- ③ 那須こどもの家
- ④ 養徳園
- ⑤ きずな
- ⑥ 泗水学園
- ⑦ 氏家養護園
- ⑧ アリスとテレス



コイズミ照明の社員による「あかり教室」も開催



## KOIZUMI'S VOICE

### 子どもたちに未来を切り拓いてもらいたい

他ではなかなか経験できない学習機の組み立てを、今回、子どもたちと一緒にさせていただき、貴重な経験をしました。ゆくゆくは子どもたちの時代がやってきます。その時に新しい未来を切り拓くことができるよう、子どもたちには今回一緒に組み立てた学習機で勉強していただき、新しい日本を築いていただければ、とても嬉しいです。



コイズミ照明(株)  
東日本営業本部  
関東営業部  
宇都宮営業所

矢内 敦史

## KOIZUMI'S VOICE

### 「一緒に組んだ」という充実感がありました

今回、初めて児童養護施設を訪問しました。思いのほか子どもたちは明るくて、みんな仲良く、強く育っていると感じました。「自分たちの力ができる」ことの喜びからか、とても熱心に手伝ってくれました。終了後「一緒に組んだのだ」という充実感がわき、この活動に参加してよかったと感じました。社員全員がこの活動を理解し、より多くの社員が参加できるようにしたいと思います。



小泉成器(株)  
首都圏事業所

長谷川 博文

## 2015年度は栃木県の8施設に、学習デスクとコタツを寄贈

この活動は、東日本大震災の復興支援のひとつとして、2012年に東北3県(岩手、宮城、福島)の児童養護施設に、コイズミファニテック(株)の学習デスクを寄贈したことから始まりました。活動をきっかけに、家庭の事情でやむなく親と離れて施設で暮らす子どもたちが大勢いることを知り、それ以来、子どもたちの夢と将来を育むための活動として継続しています。

2回目以降、大阪、九州、北陸・中部で実施し、3回目からはコイズミ照明(株)も参加。いずれも社員が施設を訪問し、デスクと一緒に組み立てることで、子どもたちと顔の見える交流をしています。

2015年度は、栃木県内の児童養護施設8カ所にデスクと椅子、学習スタンド50セットを寄贈しました。今回から、同じブランドを掲げる小泉成器(株)も参加し、同社の家具調コタツとふとんのセットも寄贈しました。

3月に栃木県那須烏山市の桔梗寮で行われた活動では、小泉産業を含む4社の社員が参加し、子どもたちと一緒にデスクやコタツを組み立てました。また、今回は子どもたちとの交流をさらに深めようと、コイズミ照明の社員による「あかり教室」を開催。器具から出る光の明るさや色味がボタンひとつで変わっていく様子に子どもたちの目は釘づけとなり、大人たちも熱心に聞き入っていました。

## STAKEHOLDER'S VOICE

### 着眼力と出会いをつくる力に深く感謝いたします

施設にも新しい施設、古い施設とさまざまです。古い施設は子どもたちの学習環境も十分なものではなく、私自身心苦しく思っていた中、貴社より今回の素晴らしいお話をいただき、感謝の言葉しかありません。貴社の商品を施設の子どもたちに提供しようと着目し、このようなハッピーな出会いをつくり出す貴社にはすごい「力」を感じています。



社会福祉法人  
児童養護施設  
桔梗寮 施設長

牧 恒男 様

## 児童養護施設の現状と課題を 考えるシンポジウムを小泉産業が協賛

2016年3月に大阪市内で開催された、児童養護施設の現状を学び課題を考えるシンポジウム「子どもたちの未来のためにできること」(主催:毎日新聞社)に、小泉産業が協賛し、専務取締役の永安勝壽がパネリストとして参加しました。

シンポジウムには、全国児童養護施設協議会会長や児童関係施設の運営責任者、児童施設の子どもの支援しているNPO法人の理事長らも参加。全国約600カ所の児童養護施設に約2万8,000人の子どもたちが暮らし、虐待を受けた子が60~70%、何らかの障がいを持った子が30%いるという実態が報告されました。そのうえで、集団生活をしている子どもの自立支援が重要であるにもかかわらず、施設の要員不足や資金不足が課題となっている現状をどう解決していくかが話し合われました。永安専務は、デスク寄贈活動の説明後、これらの課題の解決には、「企業、市民ができることから支援を始め、活動の輪を広げていくことが重要」と提言しました。

永安専務は「活動に参加してよかった」「会社に誇りを感じる」といった社員の声も紹介し、「今後も多くの社員を参加させ、モチベーションアップ、業績アップにつなげ、支援の持続・拡大につなげるというよい循環を生み出したい」と結びました。

## KOIZUMI'S VOICE

### 子どもたちから元気をもらいました

1台目の学習機は社員が組み立てながら説明し、2台目からは子どもたちが組んでいくという手順で進めました。のみ込みが早く、自分たちで進んでどんどん組んでいったのには驚きました。その時の子どもたちの真剣な顔、完成したときの嬉しそうな顔を思い出すたびに、この活動の意義を実感しています。自分自身子どもたちから元気をもらいました。



コイズミファニテック(株)  
東日本営業部  
東日本営業所

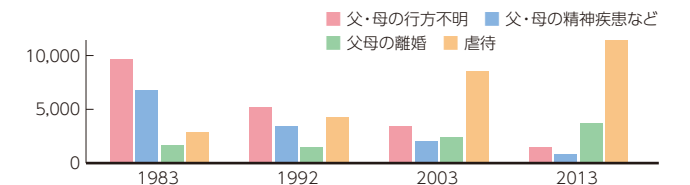
島 拓矢

## 児童養護施設の現状

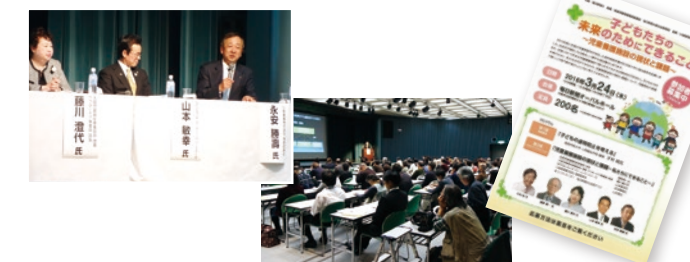
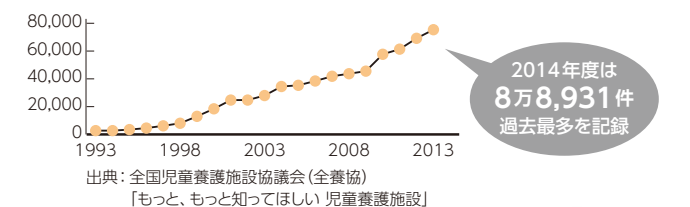
### ■「児童養護施設」とは?

児童養護施設は児童福祉法に定められた児童福祉施設で、全国に601カ所あり、現在、保護・養育を必要とする概ね2~18歳の子どもたち約2万8,000人が暮らしています。

### ■ 子どもたちの主な入所理由



### ■ 児童相談所における児童虐待相談対応件数



## STAKEHOLDER'S VOICE

### 明るい未来を作ること願っています

桔梗寮での活動を取材させていただきました。この活動の魅力は、学習環境の改善だけではなく、社員の方々と子どもたちとの心の触れ合いだと思います。子どもたちにとって、施設外の大人とのコミュニケーションはきっと大切な思い出となったことでしょう。こんな子たちにこそ優しい大人に成長してもらい、明るい未来を作ってほしいと強く思いました。



毎日新聞社  
大阪本社  
広告局 第一広告部

深田 一彦 様

Comfort  
快適

# 施設空間照明の 新たな価値を創造する 日本最大の次世代照明制御 DALIシステムラボ 「OBAL STUDIO」を開設

コイズミ照明(株)では、2015年10月に東京ショールームをリニューアル。ホテルや商業施設といった施設に特化し、お客様の課題を解決する大型のソリューション型ラボ「OBAL STUDIO」としてオープンしました。国内唯一・最大規模のDALIシステムなどによって、コイズミ照明が提案する施設照明の新しい価値を体感・検証していただくスペースとして活用していきます。



## 集客・誘導効果など新しい施設照明演出の価値を 施設の主役である“空間”で体感・検証できる大型ラボ



増え続ける訪日外国人観光客への対応などを背景に、首都圏ではホテルや商業施設の開設が相次いでいます。コイズミ照明でも近年、施設照明をご提案することが多くなってきていますが、さらにオフィスビルや医療・福祉施設等も含む施設市場に切り込み、お客様が抱える施設照明特有の課題を解決していくことは、照明専門メーカーとしての使命です。そこで、お客様に施設の主役である空間の照明演出を実際の規模に近い形で体感していただき、ともに実験・

検証を行える大型ラボとして東京ショールームをリニューアルしました。約200m<sup>2</sup>のフロア「OBAL STUDIO」は、3つのステージや間接照明検証実験スペース等で構成されています。導入している照明制御システムは、照明制御の国際規格であるDALI (Digital Addressable Lighting Interface) に対応したシステムで国内最大規模。DALI対応の250台の照明器具を一括制御し、最大で約6万通りの照明シーン制御を行うことが可能です。同システムを実際に操作していただきながら、実験・検証

をきめ細やかに行うことができます。

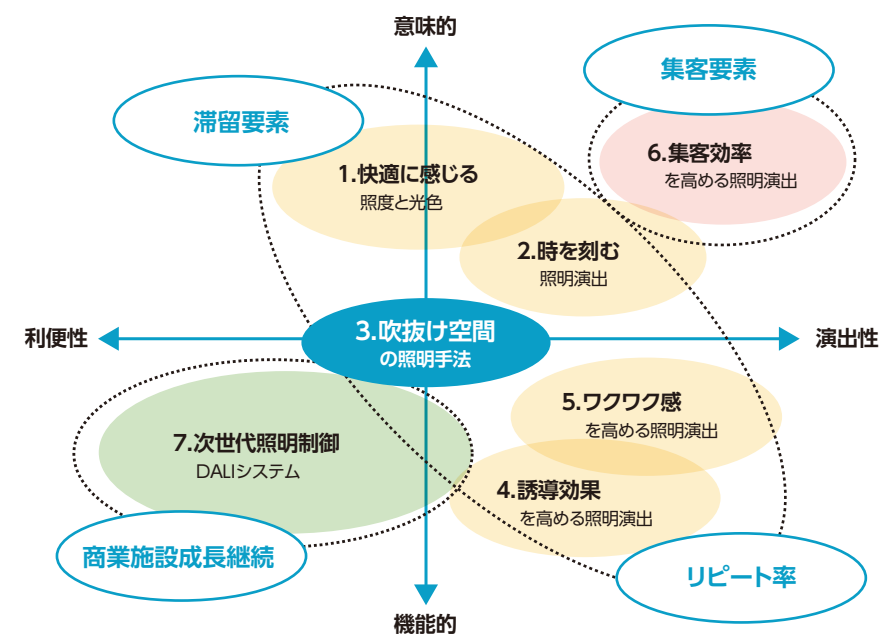
また、光・テキスタイル・コンテンツの3要素を統合した「ルミナステキスタイル」も展示しています。フルカラーLEDを搭載した布張りのパネルが面発光し、さまざまなコンテンツを表示。集客・誘導効果やワクワク感を高める新たな演出手法として注目されています。

リニューアル以来、クライアント・設計者・デザイナー様など多数の方にご来場いただき、パートナーシップを育む場として活用しています。



ルミナステキスタイル

## 商業施設価値に対するコイズミ照明の考え方



## KOIZUMI'S VOICE

お客様と価値を共有し、照明による施設空間価値を向上させていきます

住宅照明は人、店舗照明は商品、施設照明は空間が主役です。その空間に照明が提供できる快適性、集客性、機能性などをお客様に体感いただき、ともに検証する場としてOBALをリニューアルしました。施設オーナー様やゼネコン様などに、最先端のDALIシステムによる調光制御などを体感いただき、価値共有を進めているところです。ここでの検証を通しお客様の空間価値向上に取り組んでいきます。

コイズミ照明(株)  
市場開発本部  
LCR東京 統括室長  
Lighting Designer  
折居 直純



## 個別照明ごとに調光調色でき照明設備管理も容易にする DALI対応器具と制御システムを日本でもスタンダードに

コイズミ照明が今後の施設照明において、お客様の課題解決に大きく貢献すると考えているのが、次世代照明制御であるDALIシステムです。照明制御の国際規格であるDALIは世界では主流で、ヨーロッパではすでに80%近くがDALI対応の制御システムですが、日本では導入が遅れています。

その理由はLED照明の登場以来、各照明メーカーはLEDチップを購入し独自の照明器具を開発するようになり、制御方式もバラバラになったことです。メーカー側は照明器具と制御システムが同一でないで性能の保証をしなくなり、結果として、お客様は照明器具と制御システムの自由な選択ができなくなっているのが現状です。しかし、DALIが普及すれば、器具の選択は自由になり、施設照明の課題解決と新たな価値創造の可能性が飛躍的に広がります。

DALIの特長の一つは、回路ごとだけでなく、同一回路内でも器具ごとに調光や調色が可能なことです。個々の器具を自由自在にコントロールして組み合わせを作ること、さまざまな効果を持った照明シーンを何万通りでも実現することができます。また、双方向通信ができることも大きな特長です。照明器具一つひとつにアドレスがふられ、インターネット環境さえあれば、器具の不具合をどこからでも確認でき、従来のような人手による点検が不要となるため、照明設備管理の効率もアップ。建物が大きくなればなるほど、そのメリットが発揮されます。さらに、遠隔地にある複数の建物の照明を一括管理することも可能で、「OBAL STUDIO」では、東京と各地のショールームを結び、遠隔操作を体感いただけます。

### What is DALI?

DALIはIEC62386として認められた照明の調光制御の国際規格。ヨーロッパを中心として世界へ広がる照明制御の規格です。

#### ① 個別制御可能

- DALI対応器具を使用することで、同一回路内でも個別に調光や調色などのコントロールが可能。
- 回路分けをする必要がないので、施工や管理が容易になる。

#### ② 双方向通信

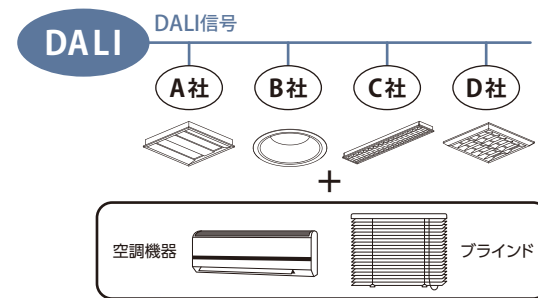
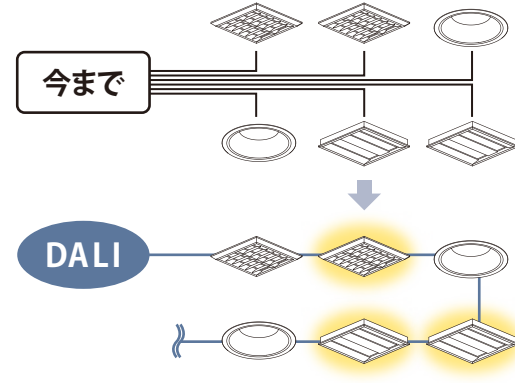
- 今まで一方通行だったが通信が、双方向通信に変わり、器具の状態や電気使用量などが監視しやすくなった。
- PCで監視と調光やON・OFFなどの制御が可能のため、1ヵ所で複数の施設管理ができる。

#### ③ オープンプロトコル

- DALI規格に準拠した器具であれば、メーカーに拘わることなく同一システムで制御可能。
- ビルのエネルギー監視システム(BEMS)と連動させることで、空調やカーテンブラインド、エレベーターなども同時にコントロールできる。



DALIシステムにより大阪ショールーム「KLOS」の照明器具をリモートコントロールでき、東京、大阪の相互でライブ映像の確認ができます。



### KOIZUMI'S VOICE

#### DALIの優位性によって施設市場のお客様の課題解決に取り組みます

DALIの優位性は、オープンな規格であること、相互通信による管理までを含めたコストメリットと操作性の向上だと感じています。この優位性でホテル、オフィス、福祉といった施設市場のお客様が抱える課題を解決すべく、日々営業活動に取り組んでいます。実績も少しずつ上がり始めており、多様なお客様のニーズに対応すべく、顧客開発のスピードを上げていきたいと考えています。



コイズミ照明(株)  
市場開発本部  
東京施設開発部  
室長

小泉 一弘

## 空調やブラインドなどとも連携が可能な DALIの普及によってお客様の空間価値を向上

さらにDALIはオープンプロトコル(国際規格による共通言語)であるため、規格に対応した器具であれば、メーカーに拘わることなく、同一システムで制御が可能です。そのため、お客様はより安価な器具を選択でき、コストを削減できます。また、照明器具だけでなく、ビルのエネルギー監視システム(BEMS)と連動させることで、空調や電動カーテンブラインド、エレベーターなども同時に制御が可能。自由自在な調光・調色の制御により、快適性や集客性などを高めながら、省エネやコスト削減を図れることから、次世代の制御システムと言えます。

コイズミ照明では、このDALIに早くから着目し、日本での普及を目指して、2015年度には国内で初めてプロパー品としてDALI対応の照明器具を開発・発売。2015年度は約300アイテムを発売し、2016年度は約550アイテムを発売予定です。2016年4月には、特にホテル需要が多い東京と大阪に施設照明に特化した部署を設置し、営業・設計・開発が一体となって、お客様に「DALIならコイズミ照明」と言って選んでいただけるような提案活動に努めています。

コイズミ照明がDALIの普及を図る目的は、お客様の空間価値を高めるために他なりません。今後も「OBAL STUDIO」や各地のショールーム機能を活用しながら、お客様とのパートナーシップを深め、施設空間の価値向上に光を通して貢献していきたいと考えています。

## TOPICS

### KLOSが2015年度グッドデザイン賞を受賞

2013年11月に大阪・梅田の商業施設「グランフロント大阪」に開設したLED照明の提案型スタジオ「KLOS」が、2015年度グッドデザイン賞(主催:公益財団法人日本デザイン振興会)を受賞しました。従来のショールームの枠組みを超えた新しいあかりビジネス、あかり文化の創造・発信拠点を目指し、それをコンセプトに自然光と人工光を組み合わせた照明をデザインに活かすなどの取り組みが高く評価されました。

本受賞を契機に、ショールームやモノづくりにおけるさらなるデザイン力の向上を目指すとともに、商品だけではなく照明空間設計力やソフト提案力の向上を推進し、ブランドイメージの向上に努めていきます。



LED照明の提案型スタジオ「KLOS(クロス)」

### STAKEHOLDER'S VOICE

#### お互いの強みを活かした空間提案で ビジネスチャンスにつなげたい

「KLOS」は「光そのもの」を提案する、非常にデザイン性に優れたショールームだと思っています。あかりによる快適な空間演出の中にも省エネ貢献など、当社商材であるカーテン・カーペット・塩ビ床材などとの融合も含めて、環境対応も提案できることが展示に表現されています。今後も展示会などを通じて、ディスプレイ内容での商品コラボを打ち出して、お互いの強い分野でのビジネスの広がりと協働による空間提案で、ビジネスチャンスにつなげていきたいと考えています。



株式会社  
川島織物セルコン  
法人営業本部  
大阪法人営業部  
部長

成宮 弘恭 様

People  
人

## 多様な働き方を 尊重しあえる 職場づくりを推進

コイズミ照明(株)は、  
すべての社員がいきいきと働けるよう  
多様な考え方や働き方を尊重しあえる  
職場環境づくりを目指しています。  
2015年度には、女性の活躍を推進する  
プロジェクトも始動。  
今後も社員の声を積極的に取り入れ、  
性別や子供の有無などに関係なく  
誰もが能力・個性を発揮し、  
働き続けやすい企業を目指していきます。



西日本営業本部  
中部営業部  
名古屋住宅営業所  
**石川 智子**  
2004年入社



商品本部 商品部  
施設企画室  
**幅多 洋次郎**  
2003年入社



西日本営業本部  
西日本業務課  
広域・HM受注センター 所長  
**星加 美里**  
1997年入社

## 多様な働き方のロールモデルがいる 会社にしていきたい

当社では女性社員が約4割を占めていますが、結婚や出産などを機に退職する社員も多く、係長以上となると1割に満たない状態です。「女性がこの会社で長く働いてほしい」というトップの意向もあり、2015年10月に「女性社員戦力化プロジェクト」を発足しました。メンバーは、自ら手を挙げ、面接などの選考を経て、全国の事業所から選ばれた女性社員9名。いかに会社を良くしていくか、制度改革や業務改善、風土づくりなどについて話し合い

を重ねています。

メンバーには私を含め子育て中の社員もいますが、話し合いでは、子育てとの両立だけでなく、「介護との両立も考えていく必要があるのでは?」「男性社員も巻き込むべき」などさまざまな意見が出ました。

そこで、2016年度は、全社員にアンケートを取って、男性も含め、より多くの声を集約し、まずできるところから制度づくりや業務改善につなげていければと考えています。

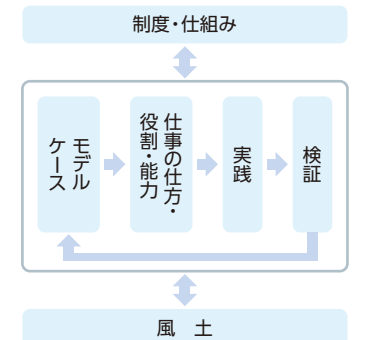
産休・育休については、私自身は内勤業務で取りやすかったのですが、営業などではまだ実績はわずかです。部署に関係なく取得しやすくするには、業務

改善とともに、身近にロールモデルを作ることが大切だと思っています。

ママ社員だけでなく、子育てに参加するイクメン、キャリアを積んで活躍する女性社員など、多様なロールモデルがたくさんいる会社にしていきたい。その多様性から生まれる発想は、お客様への価値提供の可能性をさらに広げていくことにもなるかもしれません。

## KOIZUMI女性社員戦力化プロジェクト 活動主旨目的

多様な働き方を理解しあう  
制度・仕組みと風土作りによって、  
すべての社員が無理なく継続して  
働き続けることが出来る  
企業を目指します。





石川 智子

## 子育ては思った以上に営業の仕事にプラスになると実感

大手住宅メーカー様を対象とした照明の営業をしています。産休・育休を経て、昨春からは時短勤務で復帰。女性営業職の復帰は初めてだったため、上司は戸惑ったと思いますが、プラン作成などの事務作業が少ないお取引先を任せてもらうなどの配慮をしていただき、16時半には退社しています。

周囲のサポートがあつてのことで、仕事と家庭の両立はやってみると案外できるというのが正直な感想です。お取引先のインテリアコーディネーターの方は子育て中の方が多く、共通の話題が増え、関係が築きやすくなったのは大きなメリットだと感じて

います。

お客様の声が直接聞け、やったことが目に見えるのが、営業のやりがい。続けていく価値のある仕事だからこそ、女性がもっと増え、働き続けやすくなればいいという想いで、昨年始まった女性社員戦力化プロジェクトにも参加しています。

### 🕒 1日のタイムスケジュール

- 8:30 (子どもを保育園へ送る)
- 9:30 出社 メール、FAXチェック
- 10:30 外回り(外出)
- 15:00 帰社 メール、FAX処理、事務処理
- 16:30 退社
- 17:30 (保育園へお迎え)

## 仕事以外に視野を広げることが、

担当しているのは、施設に特化した照明器具の企画を中心に、カタログや展示会でのプロモーションまで幅広い業務を担当しています。多忙ですが、3歳と6歳の子供と過ごす時間も大事にしています。運動会、参観日などにはもちろん参加していますし、日頃子どもと食事をしたり本を読んだりという時間を持てるよう効率的な仕事を心掛けています。

企画は決して机上だけの仕事ではありませんので、子どもと過ごすこともそうですが、仕事一辺倒ではなく視野を広げることが大切です。特に照明という人の感覚が重要な要素を占める



幅多 洋次郎

## 企画業務に活きています

商品では、多様な価値観に触れておくことが必要と感じています。

託児所整備やフレックスタイム制など、柔軟な視点での環境整備は会社に期待したいところですが、まず自分が声をあげ変わっていくことから始め、周りを巻き込んでいこうにしたいですね。

### 🕒 1日のタイムスケジュール

- 8:30 出社 メールチェック。1日の商談・打ち合せ準備
- 8:50 朝礼
- 9:00 企画ミーティング
- 12:00 昼休憩(本町界隈で昼食)
- 13:00 開発センターへ移動
- 14:00 開発、デバイス担当との打ち合わせ
- 15:00 カタログ製作会社へ移動
- 16:00 広報担当者との打ち合わせ
- 19:00 退社(直帰)



星加 美里

## 皆がイキイキと働ける風通しの良い職場をつくっていききたい

入社以来、住宅・店舗照明のお客様から器具の注文を電話やFAXで受け付ける業務課で仕事をしています。社内各部門と連携して、納期までに確実に商品をお届けする重要な業務。「ありがとう」というお客様の声に支えられ、ずっと続けてこられました。

照明器具の知識もないとできない奥の深い仕事ですが、4年前まで部署に女性の正社員は私一人。派遣社員の方などは契約期間があり、知識・経験が継承されないのが悩みでした。しかし、「社長と語る会」で社長に直接訴えたところ、翌年から毎年、女性の新人社員が配属されるように。女性が

増え、また私自身2年前に所長になったことで、モチベーションががぜん高まりました。

皆がイキイキ働き、何でも素直に言える、そんな職場づくりをして、お客様にさらに信頼してもらえるセンターにしていきたいですね。

### 🕒 1日のタイムスケジュール

- 8:20 出社 メールチェック・FAX内容確認  
手配入力／電話応対
- 10:00 得意先からのメール注文確認・手配入力・返信
- 13:30 昼食
- 14:15 手配入力／電話応対
- 15:00 得意先からのメール注文確認・手配入力・返信
- 17:30 終礼
- 18:30 退社

## KOIZUMI'S VOICE

### オンオフを超えて自立的に働くから仕事は面白い

施設照明の新規開拓という職務柄、お客様へのアプローチ方法や動き方は若手であっても自由に任されています。ここまでやれば十分ということはないのでキリがないのですが、自分なりにゴールを決めることで、なるべく仕事漬けにならないようにしています。一方、最近はお客様との飲み会などには仕事・プライベートの枠を超えて参加し、それがいい循環につながっています。入社4年目でようやく自分の仕事を俯瞰的に見て、本当の意味で自立的な働き方ができるようになってきました。



市場開発本部  
東京施設開発部  
第1開発室  
照明コンサルタント  
榎本 啓人  
2012年入社

## KOIZUMI'S VOICE

### 夫婦で力をあわせ、育休後の復帰を目指しています

社内結婚し、現在、妻は育休の真っ最中。育休後は仕事に戻ると自然に思えたのは、職場に復帰した方がいて、いろんな相談ができる安心感も大きかったからです。休日はなるべく一緒に外に出て、情報やトレンドから取り残されるのではという妻の不安を少しでも払拭できるようにしています。職場の方々は温かい目で見えてくれ恵まれていますし、復帰後は私ももっとサポートするつもりですが、互いに仕事を持つ身、在宅勤務ができる制度があればありがたいですね。



西日本営業本部  
西日本営業企画室 室長  
山本 忠司  
1998年入社  
商品本部 商品部  
デザイン室  
後藤 理恵  
2007年入社

# 学習家具事業50年の 開発・販売ノウハウを発揮し、 幅広い流通チャネルの ニーズに対応

コイズミファニテック(株)が1966年に  
学習デスクを発売してから、50周年。  
時代とともに変化する学習デスクへのニーズを先取りし、  
毎年、新しい発想で商品を開発・販売してきました。  
お客様や販売店様の声をもとに、  
商品そのものの改良・充実だけでなく、  
お客様の買いやすさを念頭に置いた  
販売方法の工夫や販路の開拓にも取り組んでいます。



どこでも いつまでも  
**STUDY UP DESK**

**PREO**  
PREO

**LakeWood**  
レイクウッド

**BEENO**  
ビーノ

**colfee**  
コルフィー

**alf**  
アルフ

**DecoPri**  
デコプリ



## 学習デスクの機能とデザイン性を備えた 「STUDY UP DESK」のバリエーションを充実

「子ども部屋ではなく、リビングで  
勉強させたい」「いかにも学習机という  
デザインではなくて、インテリアにも  
なじむものを」というお客様のご要望  
に応じて、2015年度に新モデルとして  
発売した「STUDY UP DESK」。リビング

やダイニングで使い始め、後々には  
子ども部屋や書斎でも使っていただ  
けるよう、最大8通りまで組み替えがで  
きるのが、「STUDY UP DESK」の特徴  
です。「学習デスクの機能を備えながら、  
見た目が普通の家具のようにシンプル

で永く使えそう」という点で高い評価を  
受け、学習デスク市場全体が落ち込む  
中で、前年度比増の売上を達成すること  
ができました。

そこで、2017年型モデルでは、テイ  
スト別に7シリーズを投入。「STUDY  
UP DESK」のベースを引き継ぎながら、  
各シリーズのカラーバリエーションを  
増やし、お子様と一緒に選んでいただ

けるよう選択肢の幅を広げました。

例えば、カラーコーディネートができ  
る人気のカラーシリーズは、従来、引き  
出しの前面に色が付いていましたが、  
新たに取手や飾りの部分のみ色が  
付いているタイプも発売しました。

また、購入されたお客様からの声な  
どをもとに、組み立て方法など細かな  
改善も実施しました。

コーディネートできるカラーシリーズ



**colfee**  
コルフィー



### 学習デスク発売50年



**1966**  
照明技術を活か  
し、業界初の「蛍光  
灯付学習机・蛍雪」  
を発売。



**1971**  
ライト付学習机「ラ  
イダーデスク」を  
発売、空前の大  
ヒットに。



**1978**  
「6・3・3で12年」の  
コンセプトで上棚  
分離式のデスクを  
発売、ステップア  
ップデスクの原点。



**1986**  
業界で初めて学習  
机に天然木を採  
用。「木のつくえ」  
の時代に。



**1991**  
業界で初めて学  
習机にインパー  
タライトを導入し  
た「インパータ  
デスク」を発売。



**1999**  
徹底した健康・環  
境対策のために、  
健康デスク宣言。



**2006**  
業界初の書棚とデ  
スクを組み合わせ  
た「ステップア  
ップデスク」を発売。



**2015**  
リビングでも、子  
ども部屋でも。ど  
こでもいつまでも  
使える業界初の「STUDY  
UP DESK」を発売。

## 販売店様からの声を受け小学生から社会人まで 多様な使い方ができる収納ラックを新発売

2016年3月には、小学生から社会人まで使っていただける収納ラック「S RACK」を新たに発売しました。

学習デスクの市場が縮小している背景のひとつが、「リビングやダイニングで学習させるので、学習机は必要ない」という親御さんの増加です。しかし、実際に新学期がスタートすると、教科書やランドセル、上靴といったお子様のモノを置く場所がなく、改めて収納家具を探されるお客様が多いという家具販売店様からの声が、開発のきっかけです。

「S RACK」の「S」には、整理、整頓、収納、習慣、成長の意味が込められています。小学生のときは学校や習い事で必要なさまざまなモノを一カ所に収納し、整理整頓の習慣をつけられるように工夫しました。引き出しはフルオープンでき、カバン類をひっかけられるハンガーフックや細かい仕切り板付き。時間割やメモを貼り付けられるバックボードも付けました。

棚の可動板は取り外して移動が可能で、棚板を変えることでさまざまなサイズの本が収納できるため、中学生になって増えるさまざまな大きさの参考書などもすっきり収納できます。棚板を天板にすればさらに収納力がアップし、プリンターラックとしても使えます。インテリア性を考慮して、キャスターは表から見えにくくするなど、コイズミファニテックが学習机で培ったノウハウをフルに活かしています。

### 収納ラック「S RACK」



### 2016 コイズミ 学習家具カタログ 「Kid's Fun」



### KOIZUMI'S VOICE

**お客様先様との共同開発で  
新たな視点を発見し、刺激を受けています**

ブランドメーカーの開発マンとして、付加価値を追求した独自性のある企画開発を心掛けていますが、昨今のユーザーや顧客のニーズをつかむために、お客様先様が持つ情報を活かした企画開発を行うことも重要だと考えています。このところ当社で取り組んでいるお客様先様との共同開発=コラボレーションは自分が気づけなかった視点を教えられることも多く、商品力強化だけでなく、よい刺激となっています。



コイズミファニテック(株)  
企画開発部  
徳尾野 仁

### STAKEHOLDER'S VOICE

**活発な意見交換を行い、  
共同開発に取り組んでいます**

コイズミファニテックの学習家具は、店頭での学習家具売り場を構成するうえで欠かせないものとなっていますが、このところオリジナル製品の共同開発に取り組んでいます。「S RACK」では、私の持っているユーザーニーズをお伝えし、製品開発に活かしていただきました。最新のオリジナル学習机の開発では、コイズミの商品部の方々や活発な意見交換ができ、いい商品に完成できそうです。これを機に、よりいっそうのパートナーシップが築ければと思っています。



安井家具株式会社  
家具商品部 課長  
田畑 美有紀 様

## 流通チャネルの拡大と各チャネルに応じた オリジナル商品開発でも実績

コイズミファニテックでは、お客様や販売店様の声を商品開発に反映するため、従来から開発担当者による販売応援を実施しています。その中で、お聞きした声を商品開発だけでなく販売方法の見直しにも活かしています。例えば、従来、学習家具と書斎家具は売り場を分けるのが一般的でしたが、「学習家具と書斎家具を分けて考えていらないお客様が増えている」という販売店様の声を受け、ショールームでも学習家具と書斎家具を並べて展示するように変更しました。また、2017年型モデルの学習家具カタログには書斎家具も一部掲載し、お客様に選択の幅を広げてご検討いただけるようにしました。

また、従来から大規模家具販売店様向けのオリジナル学習家具を開発してきましたが、近年は家具販売店様以外にもさまざまな流通チャネルのお取引先を拡大し、市場のニーズに合わせた商品開発を進めています。インテリアショップ様が企画・デザインし、当社が設計・開発を行うオリジナルデスクの開発も3年目となっています。また、2015年度は、オフィス用品カタログ通販会社様と共同で開発したオフィスチェアが約4,000本を売り上げるヒット商品となりました。

今後も幅広いお客様のニーズにお応えする商品開発を通じ、学習家具の枠を超えて、「家具と言えばコイズミ」とお客様に信頼されるトップブランドを目指していきます。

### インテリアショップ様向けオリジナルデスク、ミドルベッド



### 人気の書斎家具 Lifaldo



オフィス用  
カタログ通販会社様向け  
オフィスチェア

### KOIZUMI'S VOICE

**永くお使いいただける商品を  
開発していきます**

昨年発売したシンプル&ナチュラルテイストにこだわった書斎家具の「Lifaldo」は、学習机を小学校入学のタイミングではなく、必要な時に買うという小学校高学年のお客様に予想以上に好評でした。今後も性別や年齢を問わず、永くお使いいただけるデザインとサイズ、ならびにカラーバリエーションを拡充させた商品を企画開発していきます。



コイズミファニテック(株)  
商品部 第一商品課  
芳野 直樹

### STAKEHOLDER'S VOICE

**インテリアショップ向け家具の  
拡大に期待しています**

コイズミの学習家具を主力商品として生産してきましたが、昨今はインテリアショップ向けのリビング・ダイニング家具の開発と生産を委託いただけるようになってきました。もともと住宅家具工場だったこともあり、コイズミの事業拡大の方向に合わせて、過去のノウハウを活かすことができているように思います。今後、住宅家具の分野でもコイズミに貢献することで、当社の生産品目の幅が広がり、拡大につながればと期待しています。



ウィントラッド ジャヤ  
営業部長  
SU HE 様

Partner  
パートナー

# 拡大する コントラクト家具市場で お客様の多様な 課題解決に向け 本格的なビジネスを開始

コイズミファニテック(株)は、学習家具、書斎家具などのホームユース家具市場で培ってきた実績をベースに、コントラクト家具(非ホームユースの施設家具)市場への参入を本格的に開始しました。ホテル、商業施設、オフィスなどあらゆる施設の家具や什器に関しても、家具メーカーとしてお客様に多様な価値をご提供し、あらゆるニーズにお応えできる体制を強化しています。



ホテル メルパルク大阪様の改装客室 写真提供:丹青社 撮影:林 巧



## 店舗・施設向けの設備・什器の展示会に初出展し 製品や価値を市場にアピール

ホームユース家具の市場規模が約8,000億円であるのに対し、非ホームユースのコントラクト家具市場の規模は約1兆2,000億円に上り、さらに拡大する傾向にあります。訪日外国人観光客の増加によるホテルの建設ラッシュや相次ぐ大規模商業施設の出店、高齢化による介護・福祉施設の増加などがその背景です。

コイズミファニテックでも、従来から介護・福祉施設や宿泊施設向けの居室家具、衣食住店舗向けの家具・什器などを製造・販売してきましたが、近年、

小泉産業グループ各社を通じてコントラクト家具の引き合いをいただくことが増えています。そこで、この分野における開発・製造・販売の体制を強化し、新たなビジネスとしてコントラクト家具市場へ参入することとしました。

2016年3月には、商空間向けの設備・什器などの総合見本市「JAPAN SHOP 2016」と、介護施設向け設備機器・家具を一堂に集めた展示会「Care TEX 2016」という2つの大規模な展示会に初めて出展。衣食住店舗向け什器やテーブル、椅子といった空間施設家具

などを出展し、施設オーナー様や内装・建材関係の業者様、施設の設計士、デザイナー、インテリアプランナー様などに対し、コイズミファニテックが提供できる製品や開発・製造体制などをアピールしました。



JAPAN SHOP 2016

## KOIZUMI'S VOICE

### コントラクト事業の生産能力と、 グループのシナジーを活かしていきます

ホテルメルパルク大阪様の居室空間家具では、2年半訪問し続けた(株)丹青社様から初めてご発注いただきました。生産には、ホルムアルデヒドの放射量が最も少ないF☆☆☆☆基準を満たすタイの工場ダイシンプロダクツ(株)を新規取引先として採用。納品・据付はグループ会社のホリウチ・トータルサービスを丹青社様にご紹介し、こちらでもご発注いただきました。いずれも高く評価いただきましたので、今後もコントラクト事業の生産能力と、グループのシナジーを活かしてお役に立てていきたいと思っています。

コイズミファニテック(株)  
西日本営業部  
西日本市場開発営業所  
江口 順也



## 意匠性、素材の多様性、多品種少量生産など お客様のニーズに応える生産体制を構築

コントラクト家具は、施設の種類や規模、コンセプト、イメージによって、お客様のニーズが多様です。コイズミファニテックでは、お客様のあらゆるニーズに対応できるよう、2015年度に、衣食住店舗什器、飲食店舗家具、居室空間家具、介護施設家具のカテゴリーでコントラクト家具の生産基盤を整えました。タイ・バンコクの自社工場であるコイズミファニテック(タイランド) Co.,Ltdと日系協力工場のダイシンプロダクツ(株)、そして中国・旅順の協力工場の3工場を中心に、国内2社を加えた計8工場で、各工場が得意とする製品の生産を2015年度から順次開始しています。

例えば、コイズミファニテックタイランドは、傷が付きにくいメラミン化粧板仕様の商品が得意とし、椅子を軽量化する技術を持っています。また、ダイシンプロダクツは、シックハウス症候群の一因であるホルムアルデヒドの放散量が最も少ないF☆☆☆☆(エフ・フォー・スター)基準を満たす合板を製造できる工場です。さらに、中国の協力工場は、学習家具でも使用しているナラやタモをはじめとした多彩な天然木素材を加工し、インテリア性の高い空間づくりに貢献します。またダイシンプロダクツと中国の協力工場の両工場は多品種少ロット生産によって、例えば、数十室規模の宿泊施設の居室家具をお求めのお客様にも対応可能です。

海外の協力工場はすべて日本人あるいは日系人が経営しており、万一の際には、コイズミファニテックの現地法人からすぐにサポートにかけつけられる距離に位置しています。

### コイズミファニテックのコントラクト事業とは

|        | 介護施設家具                                                                            | 居室空間家具                                                                             | 飲食店舗家具                                                                              | 衣食住店舗什器                                                                             |
|--------|-----------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|
|        |  |  |  |  |
| 生産品目   | テーブル<br>椅子<br>床頭台<br>収納家具                                                         | ベッドパネル<br>デスク<br>椅子<br>収納家具                                                        | テーブル<br>椅子／ベンチ                                                                      | 棚板陳列什器<br>ステージ什器<br>各カウンター                                                          |
| 主要生産地盤 | コイズミファニテック<br>タイランド(バンコク)<br>※自社工場                                                | ダイシンプロダクツ(株)<br>(バンコク)<br>※協力工場                                                    | 大建協成木業有限公司<br>(旅順)<br>※協力工場                                                         | ダイシンプロダクツ(株)<br>(バンコク)<br>※協力工場                                                     |

### その他、タイ・ベトナム・インドネシア・日本国内2社(協力工場)

|             |                                                                              |                                                                               |                                                                           |                                                                               |
|-------------|------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------|
| 生産地盤<br>の特徴 | コイズミファニテック<br>タイランド(バンコク)<br>・アイカ工業製<br>メラミン化粧<br>板使用<br>・椅子軽量化技術<br>・曲木加工技術 | ダイシンプロダクツ(株)<br>(バンコク)<br>・F☆☆☆☆合板<br>使用可能<br>・多品種<br>少ロット生産<br>・トヨタ式工程<br>管理 | 大建協成木業有限公司<br>(旅順) 場<br>・天然木多素材<br>使用可<br>・多品種<br>少ロット生産<br>・材料保有<br>レベル高 | ダイシンプロダクツ(株)<br>(バンコク)<br>・F☆☆☆☆合板<br>使用可能<br>・多品種<br>少ロット生産<br>・トヨタ式工程<br>管理 |
|-------------|------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------|

すべて日本人(日系) 経営者系で当社現地法人によるQCD(品質・コスト・納期)サポートが充実



ダイシンプロダクツ(タイ)

### STAKEHOLDER'S VOICE

#### ジャパン・クオリティを追求する 家具に対する考え方に共感しています

タイにある木製家具のメーカーとして、特に心掛けている「SQCD(S:安全、Q:品質、C:コスト、D:納期)で日本に負けてはいけない」をモットーにしています。コイズミファニテックさんはデザイン、品質はもちろん、新しいことに対して取り組む姿勢、スピード、行動力が抜群です。弊社としても、いろいろな商品に挑戦させていただきたいと考えています。



ダイシンプロダクツ株式会社  
代表取締役社長  
原 広行 様

## 品質確保にも万全を期しグループ各社と協働しながら トータルな価値提供を目指す

コイズミファニテックでは、学習家具や書斎家具において、独自の品質基準KIS規格(Koizumi Industrial Standard)を定め、同基準に基づいて耐久性試験などを実施し、製品の品質と安全を保証しています。コントラクト家具においても、品質の確保は家具メーカーとして果たすべき重要な使命であるため、すでに店舗用の椅子やテーブルなどについてKIS規格を定め、現在、什器の棚板の強度などについても基準の策定を進めています。

2016年度からコントラクト家具の担当者を増員。コイズミファニテックのコントラクト家具の製品ラインナップやデザイン・品質についての考え方をお客様にわかりやすくお伝えできるよう、現在、カタログの制作に取り組んでいます。また、営業部門についても、東京と大阪で担当者を増員しました。

また、小泉産業グループ各社のシナジー効果を活かせるのも強み。コントラクト家具の保管や輸送はコイズミ物流(株)が、また、納品・据付は、2013年度に小泉産業グループに加わった(株)ホリウチ・トータルサービスがホテルや商業施設で豊富な実績を持っています。

こうしたグループ各社とも協働しながら、家具・什器のデザイン、素材、少量多品種、納期、価格など、お客様ごとに違う課題を解決し、コントラクト家具市場でもトータルな価値提供を目指していきます。



強度試験機



恒温恒湿槽でのホルムアルデヒド簡易測定設備



海外工場でのQC会議

### KOIZUMI'S VOICE

#### できる限り早く「オールコイズミ」で すべて完結できるようにしたい

コントラクト家具市場ではほとんど認知されておらず、受注・成約に至るまで非常にハードルが高かったですが、当社が当市場に取り組む先鞭をつけることができました。今後は、当市場における顧客の創造、若手社員の指導育成に取り組み、家具・備品はコイズミファニテック、照明はコイズミ照明、搬入・設置はホリウチ・トータルサービスといった「オールコイズミ」でホテル物件が手掛けられるようにしたいと考えています。



コイズミファニテック(株)  
東日本営業部  
東日本市場開発営業所  
別所 宗城 様

### STAKEHOLDER'S VOICE

#### 機能性と快適性を備えたインテリアを 共に創って行きます

明るく機能的な空間づくりと、安全で使いやすい家具・備品を揃えることを大切にしています。最近は「介護施設としての機能をフルに装備しながら、潤いのある生活空間を創りたい」というご要望が増加。家具をトータルでコーディネートでき、別注対応力もあるコイズミファニテック様は、そんなご要望にお応えしていくときの頼もしいパートナーです。今後とも力強いご支援をいただけることを期待しています。



株式会社ライオン事務器  
特販営業部  
部長  
米田 俊朗 様

## コイズミ物流(株)の取り組み

# 東西の物流拠点の拡充と 一歩進んだ運行管理によって お客様、業界の課題解決に貢献

小泉産業グループの物流機能を担うコイズミ物流(株)では、輸送の効率化やコストダウンを図るとともに、ドライバー不足という社会的課題の解決を目指して、2014年から東西で物流拠点の再構築を行ってきました。大阪営業所(大阪市住之江区)、横浜南営業所(横須賀市)ともに、お客様や社会へのさらなる貢献を目指した取り組みを進めています。

Partner  
パートナー



## 近距離便の運行時間見直しでドライバーの拘束時間短縮と お客様へのコスト削減効果を創出(大阪営業所)

近年、物流業界では若手層を中心としたドライバー不足が深刻な課題となり、輸送コストの上昇だけでなく、トラックの確保そのものが難しい状況になっています。大阪営業所では、ドライバーが減り続けている一因である、長時間勤務の削減を目指した取り組みを2015年10月から開始。大阪営業所24時間稼働のスタートと同時に、運行内容を一部見直し、大阪府内向けルート便の積荷時間を夜積みから朝積みに変更しました。従来の夜積みでは、出発時間の早い遠距離便から積んでいたため、最終出発の近距離便では協力運送会社様のドライバーの待ち時間が長くなっていました。しかし、近距離便を朝積みにしたことで、待ち時間がなくなり、大幅な拘束時間の短縮につながっています。

また、夜積みでは、できるだけ早く荷物を持ち帰ってくる必要性から、集荷範囲が営業所から半径50km程度に限られていました。しかし、朝積みでは朝までに持ち帰り仕分ければよいから、集荷範囲が200km程度に広がり、名古屋や岡山のお客様の荷物も集荷し共同配送便に載せられるようになりました。共同配送による輸送効率アップはグループ外のお客様に対するコスト削減効果を生むと同時に、積載量の増加はコイズミ物流の利益にも貢献。また、荷受人様にとっても他メーカー分と合わせて荷受作業が1回で済むという「三方よし」の効果が生まれています。



## KOIZUMI'S VOICE

協力会社様とのより良い  
パートナーシップを目指して

東大阪から大阪営業所への移転で、グループ内外の照明、家具、家電関連商品の共同配送を行っている近畿3拠点の距離が近くなり、輸送の効率化が進んでいます。今後は名古屋への幹線便についても3営業所の積み合わせを実施し、輸送効率化を目指します。トラック運転手の不足については、当社としても協力会社様の労働環境の改善に少しでも貢献し、より良いパートナーシップを構築していきたいと考えています。



## STAKEHOLDER'S VOICE

朝積みへの変更で、ドライバーの  
2交代制が廃止できました

大阪営業所の近距離便が朝積みになったことで、ドライバーの待機時間がなくなりました。また、配送と積荷が同じドライバーでできるようになったため、2交代制をとる必要がなくなり、労働時間が短縮されたのは、当社としては非常にありがたいことです。近年、ドライバーの採用は応募がなく苦慮しており、コイズミ物流さんに相談させていただいていました。今後も何事も相談し、提案し合えるパートナーとして、配送メリットが出るようにともに取り組んでいければと思っています。



## お客様へ安定的な商品供給や輸送コスト削減、 リードタイム短縮などに貢献(横浜南営業所)

2014年10月に春日部営業所(埼玉県)のコイズミファニテックの倉庫機能を移転・拡大したのが、横浜南営業所です。移転先はかねてから荷役をお願いしていた(株)ロジパルエクスプレスの横浜センター内。港に近い交通至便な立地のため、ほぼ100%海外生産であるコイズミファニテックの商品の受け入れに便利で、コンテナのまま春日部営業所に輸送するため、ドレージ料の負担も軽減されました。

また、倉庫のキャパシティが大きくなったことで、出荷量・入荷量ともに2014年度比で110%程度増加し、関東で売上が拡大しているコイズミファニテックの販売店様に在庫を切らさず供給できる体制が整いました。さらに、

春日部営業所を中継拠点とすることで配送ネットワークがいっそう充実し、お客様への配送リードタイムの短縮にもつながっています。

コイズミ物流では、2016年4月に組織変更も実施。営業管轄をグループ会社ごとにするすることで、各グループ会社と関連する業界のお客様に対する商品配送や3PL(物流業務のトータルな受託運営)を従来以上に提案しやすくなりました。

今後も全国の物流ネットワークを活用し、お客様の商品の安定的な配送を基本に、さらなる輸送の効率化によるコスト削減やCO<sub>2</sub>削減、また、ドライバー不足の解消にも貢献できる取り組みを進めていきます。



## KOIZUMI'S VOICE

外部のお客様にいっそうの  
メリットを提供していきます

横浜南営業所は、港に近く、かつ関東全域にアクセスが容易で、コイズミファニテックの全商品を在庫する津守営業所(大阪)と、売れ筋を在庫する横浜南営業所の機動的な運用によって、お客様のニーズに応じ、アイテムを絞り込んだスピーディーな対応がしやすくなりました。今後さらに各営業所間の連携を深め、電材、家電、家具など当社グループ会社の事業に関連する外部のお客様にもコスト削減をはじめとしたメリットを提供していきます。



## STAKEHOLDER'S VOICE

感動や笑顔を創造するロジスティックに  
取り組みます

私たちは、コイズミファニテック様の東日本エリアの物流センターとして、商品の保管・配送業務を担当させていただいております。日々状況が変化する物流現場、常に状況に応じた最適な方法を心掛けております。実際に商品をお使いいただく方の感動や笑顔を創造し、丁寧に、確実に取り組んでまいります。これからもお役に立てるロジスティックスのベストパートナーでありたいと考えております。



## (株)ハローリビングの取り組み

# コイズミ照明との連携で 大型ストック物件の LED改修による省エネ化に貢献

快適な暮らしに欠かせない住宅設備機器の提案・販売・施工を全国で展開している(株)ハローリビング。近年、照明器具や空調機器の入れ替えによる省エネ化に携わることが多くなりました。旧来の照明器具からLED照明への交換が進むゴルフ場など大型のストック物件に関しても、グループ企業のコイズミ照明(株)と連携し、お客様のニーズに応えています。

Ecology  
環境

## 提案～施工、補助金申請の書類作成まで一貫して 省エネ改修をサポート

省エネ・長寿命なLED照明への入れ替えについては、従来から施設のLED照明提案で豊富な実績を持つコイズミ照明との連携を図ってきました。お客様施設の状況に適した照度や色温度、配光など照明環境のコンサルティングや最適なLED照明の提案はコイズミ照明が担い、事前現場調査や施工などをハローリビングが担うことで、提案から施工まで一貫してお客様ニーズに応えてきました。

2014年12月に施工が終わり、現在も一部継続中の比良ゴルフ倶楽部様(滋賀県)の照明の省エネ化に関しても、コイズミ照明と連携。同施設の大規模な改修工事の一環として、クラブハウスのロビー、会議室、事務室、通路など

を中心に全面的なLED照明への入れ替え工事を担いました。工事は、省エネ促進のために、経済産業省が推進する「エネルギー使用合理化等事業者支援補助金」の中でも、最も採択率が厳しく大幅な省エネ効果を求められるB類に採択された事業で、ハローリビングでは補助金申請に関わる資料作成もサポートさせていただきました。施工から1年後の結果判別も良好で、空調、照明、給湯を合算した省エネ効果も実感いただいています。

今後も長年の設備機器施工で培ってきた現場対応力とグループのシナジー効果を活かしながら、補助金申請に関わる大規模施設の省エネ改修についてもお客様に貢献していきます。

## KOIZUMI'S VOICE

### 新市場開拓に当社自ら積極的に取り組んでいます

比良ゴルフ倶楽部様の案件は、コイズミ照明とお付き合いのあった住電商事エネルギー事業部様を窓口当社で施工を担当させていただきました。ゴルフ場を手掛けるのは当社としても初めてでしたが、夜間の限られた時間、高天井のロビーの照明交換にもこれまでのノウハウを活かしてやり遂げることができました。器具の供給から工事まで安心して任せられる企業グループとの評価をいただき、別のゴルフ場でも現在、提案活動が進行中です。今後はこうした新たな市場開拓に当社自ら積極的に取り組んでいます。



(株)ハローリビング  
西日本営業部  
副部長  
塩谷 裕之



クラブハウス  
正面



ロッカールーム

## STAKEHOLDER'S VOICE

### お客様からのありがたい一言を 一緒にいただきたいです

今回採択された事業は、提出書類の多さと精度の高さで、数多ある補助金事業の中でも群を抜いた存在です。クラブハウスは248区画に分類され、取り付け台数は813台、施工前、施工中、施工後に提出する写真枚数は1,000枚を超えました。ハローリビングさんの配灯図面への書込みや、省エネ新旧比較試算などの精度の高さにはお客様から絶賛を受けました。施工後も、クラブハウスの意匠性を壊すことなく、より明るくなったと好評を得ています。



住電商事株式会社  
品質保証部  
杉山 佳秀 様



## (株)ホリウチ・トータルサービスの取り組み

# ホテル家具の セットアップサービスでも グループ企業と協業し トータルなサービスを提供

ホテルや商業施設などの家具や什器などの搬入・設置を行うFFE事業を全国で展開し、豊富な実績を持つ(株)ホリウチ・トータルサービス。2013年度に小泉産業グループに加わって以来、グループ各社との協業によって、お客様に一貫したサービスを提供できる機会が増えてきました。2015年度は初めてホテルの改修・新築案件での協業が進みました。

Partner  
パートナー

## 関西のホテル改修・新築で グループ2社とのシナジー効果を発揮

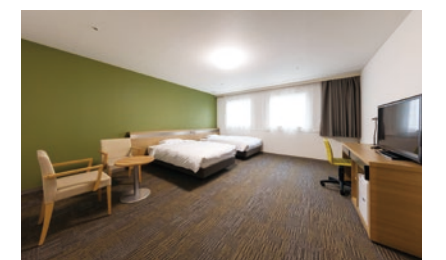
ホリウチ・トータルサービスは2003年の設立以来、家具(Furniture)・什器(Fixtures)・設備備品類(Equipment)の搬入・設置を行うFFE事業を展開。全国18拠点で、ホテル、商業施設、劇場、学校などの新築・改修時におけるFFEの一括納品から設置、廃材の処理までのトータルなセットアップサービスを提供しています。

関西では特にホテルの新築・改修において豊富な実績を持ち、2015年度は2件のホテル案件において、小泉産業グループ各社との協業が進みました。2016年1月～3月に実施された「ホテルメルパルク大阪」様(162室)の改装では、客室内のデスクミラー、ヘッドボードなどの製作をコイズミファニテック(株)が担い、それらの搬入・設置

を当社が行いました。本件で、コイズミファニテックから紹介を受けた商業・文化施設などの空間づくりを行う(株)丹青社様とは、その後、東京のホテルや名古屋のレジャー施設でもお声掛けいただくなど、グループ全体としてのお付き合いが広がっています。

また、2016年4月に開業した「ホテルサンルート大阪なんば」様(698室)では、当社が搬入・設置した家具の海外からの受け入れ、倉庫管理、輸送などをコイズミ物流(株)が担当しました。

今後もホテルをはじめとした施設の新築・改修に関する情報をグループ各社と共有し、お客様の目指す空間づくりをトータルにサポートしていきたいと考えています。



ホテルメルパルク大阪様の  
改装客室  
写真提供：丹青社  
撮影：林 巧

## STAKEHOLDER'S VOICE

### 空間づくりのパートナーとして、 共に成長していきたいと考えています

今回の案件では、海外生産の特注家具に対して各部屋の現場寸法にバラつきがあったため、現場と工場のやり取りや製作物に誤りがないようにする必要がありました。しかし、御社で一元管理していただけたことにより、ノンストレスでスムーズに案件を進めることができました。これからも特注家具製作、物流、据付まで一貫してご対応いただけるパートナーとして、ともに成長していきたいと考えています。



(株)ホリウチ・トータルサービス  
営業本部  
名古屋駅前プロジェクト  
リーダー  
神成 洋二



株式会社丹青社  
CS事業部 第2制作統括部  
関西制作部1課  
チームリーダー  
太田 篤 様



## 小泉産業(株)の取り組み ①

# グループ各社の 基幹システムを再構築し、 事業領域における 競争優位性の向上を目指す

小泉産業(株)・情報システム部は、グループ各社のITシステムの開発・管理・運用を担っています。2015年度からグループ各社の基幹システムの再構築に本格的に着手。各社で異なる事業特性やお客様に応じた最適なシステム提案・構築を目指しています。

Partner  
パートナー



## 基幹システム再構築マイルストーンを作成し コイズミファニテック(株)から再構築に着手

基幹システム再構築は、それぞれ異なる事業領域を持つグループ各社の業務効率の向上を図り、各社のお客様に対する付加価値の提供、ひいては各事業領域における競争優位性を築くことが目的です。そのために、従来グループ全社で同じだった基幹システムをビジネスユニット単位に分割することとし、2015年度より作業を進めています。

そこでまず、取り組んだのが、20年近く使用していたシステムの汎用機の入替えです。低価格かつスリムながら、大容量かつスピードの速い最新機に入れ替えを実施したうえで、各社のニーズに合ったシステム構築を行っています。

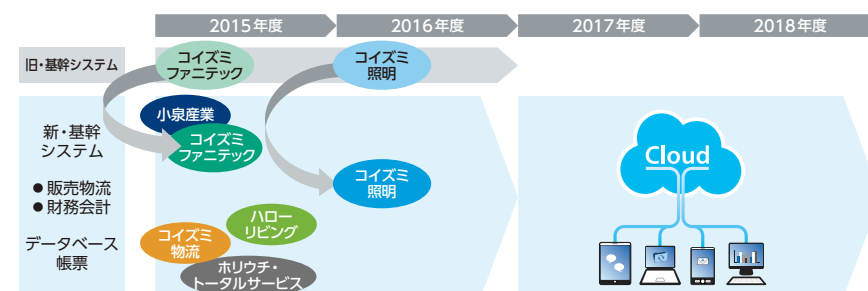
2015年度は第一弾として、コイズミファニテックの基幹システムの再構築

を実施。これにより管理画面の操作性が向上し、受発注業務などを行う業務部門ではお客様からの商品に関する問い合わせに対して従来よりも効率のよい対応が実現しています。汎用機の入替えによってデータベースの容量が大きくなったことで、今後は商品コードの桁数の拡大などにも対応していきます。

2016年度は、コイズミ照明(株)での実施を計画しています。また、(株)ホリウチ・トータルサービスについても基幹システムの再構築を進めています。グループ各社の基幹システムの再構築後は、各現場担当者の声を聞きながら、それぞれのニーズに合わせて操作性の向上、機能の拡大を進めていきます。

## 基幹システム再構築マイルストーン

5年先を考え、各社の事業戦略に柔軟に対応できる環境を構築する



## KOIZUMI'S VOICE

新技術も導入し、各社が優位性を  
発揮できるシステムづくりを

2015年度から進めている各社の基幹システムの再構築を確実に実施し、小泉産業グループ各社がそれぞれの事業領域で競合他社に対して優位性を構築できるようなシステムを今後数年かけて作っていく計画です。事業領域も取り扱う商品も違う環境下で、各社の業務に応じた使い勝手の良いシステムを作っていくには、基幹システムとサブシステムのスムーズな連携が欠かせません。そのために新技術も積極的に導入していきます。

小泉産業株式会社  
グループ経営統括部  
情報システム部  
部長  
清水 恒紀



## STAKEHOLDER'S VOICE

業務効率改善目標 10%を目指します

2015年5月に新基幹システムを導入しましたが、大きなトラブルもなく移行できました。従来のシステムはグループ共通であるがゆえの制約がありましたが、新システム導入後はその制約がなくなり、ファニテック独自のカスタマイズが可能になっています。今後このメリットを活かして、部門の業務効率改善目標10%を目指していきます。

コイズミファニテック(株)  
商品部  
受注センター 室長  
中西 聡 様

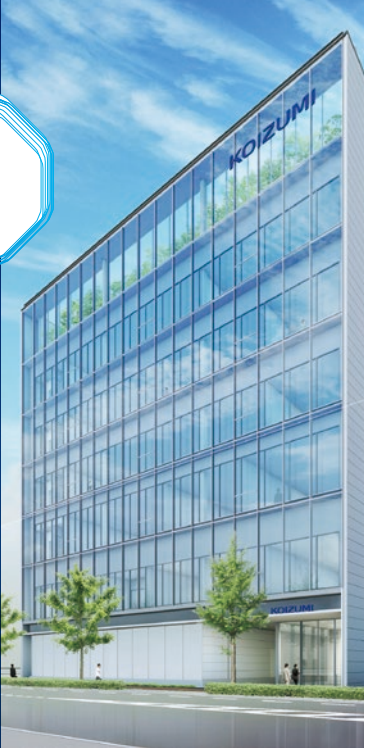


## 小泉産業(株)の取り組み ②

# 省CO<sub>2</sub>を実現する先導的な 事業として採択された 「コイズミ緑橋ビル(仮称)」の建設に着工

小泉産業(株)は、コイズミ照明(株)の研究開発拠点となる「コイズミ緑橋ビル(仮称)」(大阪市東成区)の建設プロジェクトを進めています。現在、東大阪市にある商品開発や品質管理などの主要部門が移転するビルは、自然の光や風、最新の照明制御システムなどを利用した環境調和型のオフィスビルで、その先導性により国土交通省の「サステナブル建築物等先導事業(省CO<sub>2</sub>先導型)」に採択されました。

Ecology  
環境



## 自然の光や風の利用と最新の照明制御システムの活用により 環境との調和と生産性向上の両立を図る

新社屋の建設は、東大阪市にあるコイズミ照明の施設老朽化が進んでいることから計画を進めてきました。建設地は、小泉産業本社のある大阪市営地下鉄本町駅から徒歩3駅の緑橋駅近く。2016年3月に着工し、2017年2月末に竣工の予定です。

プロジェクトで目指したのは、環境経営の推進に取り組むグループの姿勢を具現化でき、かつ生産性の向上が図れるオフィス環境づくり。計画段階から設計・施工を担う(株)竹中工務店様と検討を重ねてきました。その結果、6階建のビルは緑化した階段状のバルコニーと吹抜け構造によって自然採光と自然換気を最大限に利用。また、コイズミ照明が普及を進めている最新の照明制御システム「DALI」を応用して、照明や空調、ブラインドを制御し、ビル全体の

消費エネルギーとCO<sub>2</sub>の削減を図ることで、環境調和型のコンセプトを具現化するものとなりました。CO<sub>2</sub>排出量は同規模のビル換算で年間208トン削減され、排出削減率は約43%に上ります。最新技術を用いた先導性と今後の中小規模オフィスに対する波及効果への期待から、本ビル建設は省CO<sub>2</sub>の実現性に優れたリーディングプロジェクトとして「平成27年度第2回サステナブル建築物等先導事業(省CO<sub>2</sub>先導型)」に採択されました。

働き方を軸とした空間レイアウトなどについては、社員からも意見をヒアリングし設計に反映させました。完成後は社員アンケートを実施し、新ビル入居前と比べどう生産性の向上が図られたのかの検証も行っていく計画です。



外観南側



断面図

## STAKEHOLDER'S VOICE

関係者一丸となってプロジェクトの  
完成に尽力します

このたびは「コイズミ緑橋ビル(仮称)」プロジェクトへの参画機会をいただき、誠にありがとうございます。新社屋には、御社のブランドステートメント「\_\_違う発想がある」研究・開発の拠点としての役割を期待されているとお聞かしております。弊社の設計施工部門、ワークプレイスプロデュース部門等一丸となり、その想いにお応えできるようプロジェクトに邁進してまいります。本プロジェクトを契機として、照明開発等の新しい価値創造に少しでも寄与できたら幸いです。

## KOIZUMI'S VOICE

ソフト面でも、コイズミらしい「\_\_違う発想」を  
感じてもらえるビルに

新社屋は、ハイテク技術だけでなく、ソフトの部分でも、「\_\_違う発想がある」という当社グループのブランドステートメントを感じていただけるビルにしていきたいですね。できあがったインフラの中でどんな働き方をしていくのかは、コイズミ照明の社員次第ですが、住宅地の中という立地ですので、地域住民との調和を保ちながら、地域や社会と共生できる場になればいいと期待しています。



小泉産業(株)  
グループ経営統括部  
総務室 室長  
杉原 隆文



株式会社竹中工務店  
大阪本店 営業部  
河村 尚彦 様

## 小泉産業(株)の取り組み③

# 多様な価値観を認めるから「\_\_違う発想」が生まれていく コイズミアカデミー

社は「人格の育成向上」を社是に掲げる小泉産業(株)では、2011年より「コイズミアカデミー」という学びの道場で切磋琢磨する社員教育に力を入れています。  
“自ら考え行動するプロ集団”として、  
新たな価値を提供し続けていける企業グループを目指しています。



## グループで共有するブランド推進活動の一環として、 小泉成器との合同「新入社員研修」をスタート

### ブランドを共有するために、 ルーツを尋ね300年のDNAを学ぶ

「コイズミアカデミーの最大の特徴は「自らのあり方」を考え、学び、探求する「道学」(人間学)と、実務で活用する「実学」(知識・スキル)を組み合わせる実施していること。そのスタートである新入社員研修では、5泊6日の合宿研修を小泉産業グループ創業家の菩提寺である滋賀県の西教寺で実施しています。



2016年の新入社員研修は、KOIZUMIブランドを共有する小泉成器(株)と初めて合同で実施しました。また、2016年はグループ創業300周年にあたることもあり、研修初日に滋賀県東近江市五個荘にある近江商人屋敷を見学し、現地学芸員から直々に話を聞く機会を設けました。小泉産業グループ46名、小泉成器25名の新入社員が「三方よし」をはじめとする近江商人の精神に触れ、西教寺でグループの歴史を学び、現在のブランドと理念にどのように連動しているのかを知る新カリキュラム「コイズミDNA研修」を新たに実施しました。

### コミュニケーション能力を 高めるための研修を強化

ここ数年の新入社員によく見られる「相手の発信の本質を読み取る力が弱い」といった課題を解消するため、「人とうまくやっていくコミュニケーション基礎研修」の内容を刷新し強化しました。

講義による概念理解だけでなく体験ワークを多用し、特に新たに導入した視覚情報を遮断した状態でのグループワークでは、逆に視覚情報から無意識に判断していることの重要性や自身の心情、意見は言語化し正しく伝えないと伝わらない等々、多くの気づきと学びがある研修となりました。

こうしたメンバーシップ間のコミュニケーションを擬似的に強調したかたちで体験させることで、本当の意味での「相手の



ことを思いやり、物事の本質が読み取れるコミュニケーション」ができる人財に育ててもらいたいと考えています。



### 研修を受講して

#### 研修の意義を改めて認識しました

お寺で研修と聞いたときは、座禅などの精神修行をイメージしていましたが、社会人になるために必要なことが学べる充実した楽しい研修でした。中でも最も心に残ったのが「三方よし」。初めて知った言葉ですが、売り手、買い手だけでなく、世の中に対しても良いものを提供するという考え方は、すでに仕事において非常に役立っています。「研修とは面倒なもの」と考えていましたが、今回の研修で「自分にとってプラスになることを学ぶ場」とであると改めて認識しました。



コイズミ照明(株)  
西日本営業本部  
近畿住宅営業部  
垣本 翔夢

### アドバイザーとして参加して

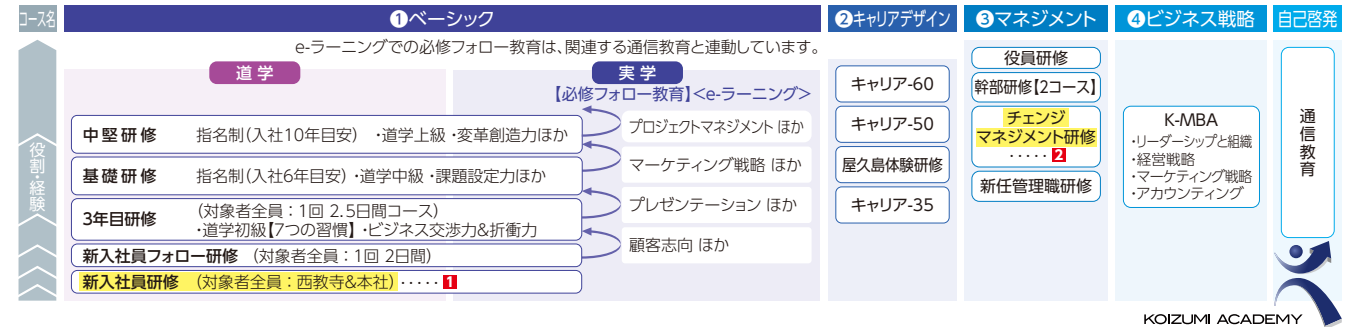
#### 自らを変えていく機会となりました

これまでの小泉成器の新入社員研修は業務研修が中心だったため、コイズミDNA研修やコミュニケーション研修など、新たに発見することばかりで刺激的でした。受講者の毎日のレポートの添削で、受講者が自主的に日々変化、成長していくのを垣間見て、研修の効力に驚きました。今回はアドバイザーとして参加しましたが、これをよい機会として「伝える力」「聞く力」にさらに磨きをかけ、自分を「変えていきたい」と考えています。



小泉成器(株)  
商品事業部  
美容器具  
伊藤 貴政

## コイズミアカデミー人財育成体系図

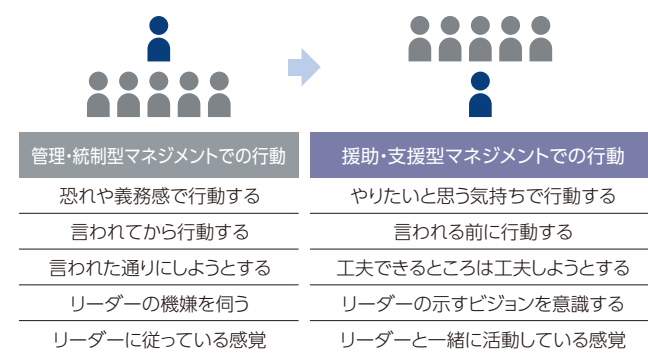


## 多様な価値観を持った人財を活かすために、 風土改革を目指す「チェンジ マネジメント研修」

### 環境変化に対応するため、管理職に求められる “今日的なマネジメント”へのチェンジを図る

社員の価値観の多様化、不透明な経済下での競争激化、グローバル化、若年層の生活環境など外部環境の変化の激しい現代だからこそ、創業300年という歴史ある企業ゆえの古い習慣、古典的なマネジメントスタイルを変革し、“今日的なマネジメント”について学び、スキルを身につけるため、「チェンジ マネジメント研修」を2015年に新しく導入しました。

約20名の中堅社員のマネジメント層を対象に、「管理・統制型マネジメント」偏重の限界に気づき、今日的マネジメントで必要とされる、多様性を認め、受け入れながら個人が持っている強みを掛け合わせる「援助・支援型マネジメント」について学び、チームとして新たな価値を引き出し、メンバー一人ひとりのやりがいを支えるマネジメントのコツをつかむことをねらいとしています。



### 研修を受講して

#### 「気づき」を与えていただき感謝しています

店舗照明の開発営業から販売に至るプロモーションを手掛ける部署のマネージャーとして、現在7名の部下がいます。自分ではまだまだ若く、世代間ギャップはないものと考えていましたが、時代のスピードは思いのほか速く、若年層の思考パターンや行動パターンを受け入れないといけない局面が多々あるのも事実です。今回の研修では、自分では気づかない、人から指摘されてはじめて気づくことを教えていただき、大変感謝しています。今後は、会社として「マネージャーの理想像」を共有化できるようになればよいと考えています。



コイズミ照明(株)  
市場開発本部  
東京商環境開発部  
室長  
半田 正彰

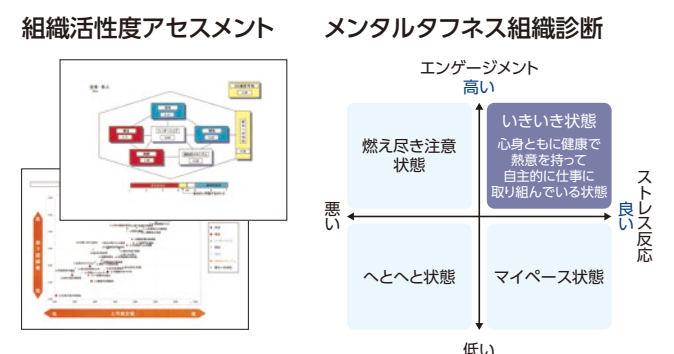
### 受講者の部下として

#### 今まで以上に働きやすい空気感があります

入社後すぐに配属となったのが現在の部署です。当初より、マネージャーは管理した方ではなく、自由にさせてくださる分、バックアップはしっかりしていただける方でした。研修受講後は、室員全員を集めたミーティングを開催し、受講した研修の資料をすべて公開し、共有を図っていただきました。また、部下一人ひとりの負担を減らそうと、お客様へのプラン提案資料を共有化するためのファイル作成をすぐに実行していただきました。今まで以上にバックアップ体制がよくなり、働きやすい空気感があります。



コイズミ照明(株)  
市場開発本部  
東京商環境開発部  
横山 佳代



# 創業時からの“三方よし”の考えのもと グループ全体で社会的責任を果たしていきます

## ■ CSRマネジメント

### 理念に基づく4つの要素を柱にグループ全体でCSRを推進

当社グループは、創業の源流にある近江商人の“三方よし”の考え方のもと、時代とともに高まる企業の社会的責任（CSR）を果たすことに努めています。

2006年度のグループ経営以降、グループ理念のもと「コンプライアンス&リスクマネジメント」「品質マネジメント」「環境マネジメント」「コーポレートブランドマネジメント」を4つの柱に、グループ全体でCSRを推進しています。

第四次中期経営計画（2015-2017年）では、2016年の小泉グループ創業300年を成長の節目と捉え、「創業時より培ってきたDNAを受け継ぎ、新たな価値創造に挑戦する」ことで社会的責任を果たすグループ企業を目指しています。

## ■ 環境・品質マネジメント

### ISOをマネジメントツールに顧客満足度向上と環境保全を推進

当社グループは、経営品質の確保による顧客満足度の向上と環境経営の推進による環境への負荷低減を実現するために、マネジメントの国際標準規格であるISO9001とISO14001を認証取得し、継続的な経営改善に反映しています。2013年度から外部審査機関による認証審査を品質・環境ISOとも同時に受けるようにし、より経営と一体化させたPDCAサイクルでの組織運用を図っています。

2015年度には、大阪南港の新たな物流拠点をISO適用事業所として拡大し、照明の製造工場2社を含め9社、11事業所が認証を取得しています。また、ISO14001の認証を取得していない事業所に対しては、グループ共通の環境管理規定を設け、省資源、廃棄物の適正処理、省エネ、物品・サービスのグリーン調達などに取り組んでいます。

2016年度は、2015年9月に改訂されたISO規格（2015年版）への移行期間にあたり、組織の内外における課題、利害関係者のニーズ、品質・環境上のリスクと機会を改めて捉え直し、マニュアル類の見直しを行います。2017年度中に、ISO2015年版の規格要求に沿ったマネジメントシステム運用に移行するよう取り組んでいます。

## ■ コンプライアンス&リスクマネジメント

### グループ全従業員にWEBコンプライアンス研修を継続的に実施

グループ各社では、コンプライアンスを重視した経営の実践を重要課題に、従業員一人ひとりがコンプライアンス意識を持ち、行動できるよう、教育・啓発を行っています。

2015年度も、グループのイントラネットを活用した出題回答形式のWEBコンプライアンス研修を4回実施しました。働き方、ハラスメント、情報管理などコンプライアンスの幅広い課題について共通理解を深め、意識啓発を促しています。

また、毎年10月を「コイズミ倫理月間」と定め、「グループ倫理行動ガイドライン」を唱和するなど、企業倫理の意識を高める活動を継続しています。

今後も社内規定の理解をはじめ、さまざまな課題について反復的に教育研修を重ねることで、グループ全体のコンプライアンスリスクを回避するための体質の強化に努めていきます。

### CSRマネジメントの構造

#### ■ コーポレートブランドマネジメント

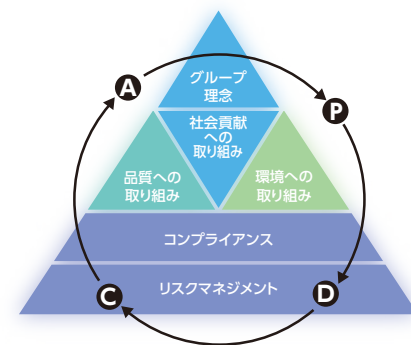
“グループ理念体系”に基づいて、コーポレートブランド価値の最大化を図り、社会に愛され信頼される企業を目指す

#### ■ 品質マネジメント

ISO9001を基本に製品品質はもちろんのこと経営品質の向上に取り組む

#### ■ 環境マネジメント

ISO14001を基本にサプライチェーンを含めた環境経営の推進に取り組む

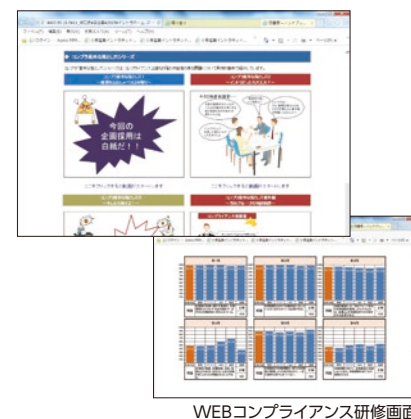


#### ■ コンプライアンス&リスクマネジメント

コンプライアンスとリスク管理という視点から管理項目を洗い出し、社内ルールを整備・維持・管理する



東大阪事業所での内部監査



WEBコンプライアンス研修画面

## 全国の事務所で地域清掃活動を実施

当社グループでは、各社の国内全事業所で、周辺の清掃美化活動を実施しています。2015年度は、13カ所で活動を実施し、地域美化に貢献することができました。各事業所の活動状況は、社内のイントラネットを通じて全社に発信し、グループ内で共有しています。

こうした活動は、事業所近隣の皆様とのコミュニケーションを生むきっかけにもなっています。年間を通じて定期的に活動している事業所もあり、それぞれの自主的な取り組みとして活動が定着し、継続されるように推進を図っていきます。



## 「企業のコンプライアンス」をテーマに大学への出前講座で学生の社会教育を支援



大学コンソーシアム大阪

小泉産業（株）では、法務担当の社員が大学からの要望を受けて「企業のコンプライアンス（法令遵守）と社会的責任」を題材にした学生向け出前講座を実施しています。2008年度に始めたこの取り組みは、就職活動を控えた大学生の皆さんにコンプライアンスの重要性を理解していただく機会を提供することで、社会に貢献したいという想いを持って継続しています。2015年度は、新たに江戸川大学の学生さんを対象に実施しました。

また、大学コンソーシアム大阪でのインターンシッププログラムに臨む皆さんへの準備教育講座も6年目となり、加盟44大学、約200名の学生に受講していただきました。企業の社会的責任とその土台になるコンプライアンスについて、学生と社会人の立場の違いを踏まえ理解を深められるよう、当社グループの活動を具体的に紹介するなど内容の工夫を重ねています。

## NPOのAED講習会を継続的に支援するとともに、新入社員研修での救命講習を定例化

当社グループは、全国のコイズミ照明（株）のショールームや来客者の多い事業所など6カ所にAED（自動体外式除細動器）を設置しています。そして、毎年の新入社員研修にAED講習会を組み込み、いざという時に躊躇せず行動できる社員の増大を図っています。2015年度も31名の新入社員が受講しました。

また2009年度からは、AEDの普及に取り組むNPO法人大阪ライフサポート協会が一般市民を対象に開催する講習会用に、小泉産業本社の大会議室を会場として提供しています。2015年度には講習会が3回実施され、35名が参加されました。この支援を始めて今年で7年。これまでに410名の方が受講されています。受講者の中には実際に救急の現場に遭遇し、ここで学んだスキルを使って人命を救った方もいらっしゃいます。2016年3月、協会設立10周年を記念して開かれた「10周年の集い」では、協会理事長よりこれまでの協力に対して感謝状をいただきました。

今後もAED講習の会場提供をはじめ、自社の特性や能力を活かしてできる社会支援を、無理のない範囲で継続していく予定です。

「10周年の集い」で感謝状をいただきました



感謝状



新入社員研修でのAED講習会

快適な空間づくりのパイオニアとして

グループ経営理念にある「新しい着眼と独自の発想」から生み出された数多くのKOIZUMIブランドの製品は、常に市場に新鮮な驚きと共感をもって受け入れられてきました。これからも快適な空間づくりのパイオニアとして、人と社会に夢と感動を提供し続けていきます。

1716

- 1716 創業  
始祖小泉太兵衛行商開始
- 1738 近江屋新助商店設立
- 1871 近代創業  
立木屋森之助商店開設(大阪)
- 1904 社章を❖に制定  
「小泉合名会社」設立
- 1941 株式会社小泉商店設立
- 1943 大阪で航空機ゲージの加工販売業・五光精機工業を買収し、五光精機工業株式会社設立

1946

- 1946 「五光精機工業株式会社」を「小泉産業株式会社」に改称  
電気、ガス、石油器具を主とした製造卸業を開始
- 1953 東京営業所開設
- 1957 照明市場へ本格参入
- 1961 広島営業所、福岡営業所開設
- 1962 名古屋営業所開設
- 1967 家具市場へ本格参入

1978

- 1978 大阪商工会議所から「企業百年」で表彰を受ける
- 1981 (株)マテック(現:コイズミ照明デバイス(株))、(株)ハローリビング設立
- 1986 CIシステム導入(ヒカリブランドからコイズミブランドへ転換)
- 1987 コイズミ国際学生照明デザインコンペ創設
- 1989 新創業 商事事業部門分離(小泉成器(株)設立)

1991

- 1991 直営照明器具製造工場・コイズミライティング(株)設立
- 1995 コイズミサンギョウ(タイランド)LTD.設立
- 1999 コイズミ物流(株)設立

2000

- 2000 中国 東莞事務所開設
- 2001 照明事業 ISO9001認証取得  
中国 大連事務所開設  
P.T.コイズミインドネシア設立
- 2002 ISO14001 認証取得  
コイズミ情報システム(株)、小泉産業(香港)有限公司設立

2005

- 2005 家具事業 ISO9001 認証取得
- 2006 照明・家具事業を分社  
小泉産業(株)を持株会社とするグループ経営体制へ移行  
克茲米商貿(上海)有限公司設立
- 2009 東莞小泉照明有限公司設立

2010

- 2010 青垣コイズミ照明(株)設立  
小泉家具(大連)有限公司設立
- 2012 コイズミライティング(株)LED工場開設  
児童養護施設へのデスク寄贈活動スタート
- 2013 照明提案型スタジオ「KLOS」  
グランフロント大阪に開設  
(株)ホリウチ・トータルサービスがグループ加入
- 2014 K.L.T.(シンガポール)LTD.設立
- 2015 KOIZUMIブランド刷新、  
コイズミグループブランド推進活動スタート  
ビッツリンクアソシエイツLTD.がグループ加入

300  
これまでも これからも

1971 照明器具付学習机  
ライダーデスク

昭和41年、めざましい経済発展によって人々の生活にゆとりが生まれ、教育熱が高まりました。これにともなって子ども部屋、勉強機の需要が活発になってきました。コイズミは、自社の照明技術を活かして、業界初の「蛍光灯付学習机・蛍雪」を発売。46年には蛍光灯+白熱灯の「ライダーデスク」を発表。仮面ライダーのキャラクター人気と合わせ空前の大ヒットとなりました。



1953 燃料ルートから家電ルートへ  
石油コンロ

昭和28年、石油を燃料とする新しい調理器具、石油コンロを開発。この種の商品は燃料店で販売されていましたが、当社が初めて電気店ルートで販売を開始し、予想を超える大ヒットとなりました。



1965 デザイン豊かなあかりで暮らしを楽しむ  
インテリア照明

昭和30年代、照明はまだただ照らすだけの道具でした。コイズミは暮らしに夢と豊かさを提供するため「あかりはインテリア」のキャッチフレーズのもと、照明器具にデザイン性を吹き込み、選ぶ楽しみや使う喜びにあふれる華やかな照明の分野を築きました。



1967 料理のできるダイニングテーブル  
クックテーブル「晚餐」

住居の洋風化に合わせてダイニングテーブルを販売する中で、コイズミは鍋料理の不便さに着目。ガスコンロの準備の手間をいかに省くか。こんな出発点から料理のできるダイニングテーブル「晚餐」が開発されました。発表直後から新しい生活提案として爆発的にヒットしました。



1973 年間通じて使える新コタツ  
家具調コタツ「四季の集い」

昭和48年には家具調コタツ「四季の集い」を開発。それまでのコタツの概念から離れ、インテリア性の高い座卓に暖房機能を付加した製品は、年間を通じて使える全く新しいジャンルの家具として一世を風靡しました。



1978 棚を外せば高校まで  
6・3・3で12年

それまで学習机と言えば、本体と棚の一体型が主流でした。コイズミは上級生になれば、平机として永く使えるよう棚の取り外しと素材・構造の耐久性を実現し、「6・3・3で12年」のキャッチコピーとともに、広く普及しました。



1987 学生を対象とした世界唯一の照明コンペ  
コイズミ国際学生照明デザインコンペ

1987年、若き人材の育成と照明文化の普及を目的に、世界の学生を対象とした照明のデザインコンペを創設。他に類を見ない当コンペはたくさんの方々の賛同をいただきながら、終了までの25年間に世界42カ国、3万人を超える学生が参加。現在、入賞者たちは照明、建築、インテリアなど各界で活躍しています。



1988 時代を変えた省エネ照明  
インバータ照明器具

省エネの潮流を背景として、高効率、静音、瞬時点灯などの特長を持つ照明のインバータ回路が開発されましたが、コイズミは専業業界でいち早く製品化に取り組み、充実の品揃えで皆様のご要望にお応えしました。



1990 体感型照明ショールーム  
コイズミライティングシアター／イズム

照明器具から出る光がどんな空間をつくり出すか、これが商品を見るだけではわからない照明選択の泣き所でした。コイズミはショールームづくりに「体感」の概念を導入し、従来のコーディネート中心の考え方に新風を吹き込みました。各種のシミュレーション装置によって納得のいく器具選びが実現しました。



1994 ファンクション&コンパクト  
生活賢具

80年にコイズミが打ち出したコンセプト「家具=生活道具」は、常に暮らしを見つめる姿勢から生まれたものです。そして94年、ついに次のステージのキーワード「生活賢具」が生まれました。発売されたアイテムはすべて、知恵のある生活道具としてお客様を唸らせました。



1998 その空間に最適な光を生み出す  
E.L.H.

住宅のそれぞれの空間に必要な光はどんな光か。この課題に真正面から取り組んだ製品群がE.L.H.(Environment Lighting Harmony)です。目的配光と高効率化を独自の配光制御技術によって高度な次元で両立したシリーズです。以降、本シリーズは毎年拡充され、その後の住宅照明のあり方に大きな影響を与えました。



2003 照明のワールドワイドデザイン  
D-ACTION

コイズミ独自のグローバルなネットワークを活かした世界のトップデザイナーによるシリーズです。クリエイターの圧倒的な個性、洗練されたデザインとともに明確な機能性も備えています。



2006 21世紀の学習家具のトレンド  
ステップアップデスク

「机+上棚」から「机+書棚」への発想転換。これによって机と書棚が合体式、分離式どちらでも使えるようになり、お子様の成長に合わせてレイアウトも使い方も自由自在にステップアップできるようになりました。翌年発表された業界の新製品の主流は、ほとんどがこの方式となりました。



2007 あかり文化を創造する新拠点  
OBAL

光の探究は照明専門メーカーとしての使命です。2007年夏、コイズミは光の本質を探る独自の研究施設を開発し、東京ショールーム上層階に「OBAL」と命名して開設しました。国内外のクリエイターや異業種各社と手を携え、空間の可能性を探り続けています。



2008 世界で初めて製品化に成功  
超高演色LED

2008年、環境の時代の最先端の光源であるLEDを搭載した「cledy」シリーズを発表。2009年には、山口大学との共同研究により、平均演色評価数(物の色を自然に見せる度合)97という驚異的な性能を世界に先駆けて開発。「快適な視環境づくり」を目指すコイズミが、LEDの新たなステージを築きました。



2010 電動ベッドの先進機能  
らくアップモーション

高齢者の寝起きをサポートする、コイズミの電動ベッドの動作機能「らくアップモーション」。中でも背部が上がりきっても脚部をフラットにする「フットフラット」機能は、従来の2モーターでなく1モーターで動作。新開発のシンプルな機構が、さまざまなメリットを生み出しています。



2011 光と化学の融合  
LED導光板照明

アクリルの端面に光を当て、アクリル面全体を光らせる「エッジライト方式」。この方式は、発光面の均質性や光のロスが課題でした。コイズミは、この課題の解決策で特許を持つ住友化学(株)様とコラボレーション。高効率、均質性に加え、光の柔らかさを備えたLED導光板照明を発売しました。



2012 子どもたちに希望の風を送る  
児童養護施設へのデスク寄贈活動

さまざまな事情で自分の家に住めない子どもたち3万人が暮らす児童養護施設。ここに小泉産業が2012年からデスクの寄贈を行っています。製品を送るだけでなく、子どもたちと社員と一緒に組み立てるといもので、毎年20名程の社員が参加。子どもたちと社員の協同作業は、双方に爽やかな達成感と新たな気づきをもたらしています。



2013 LED照明提案型スタジオ  
KLOS

KLOS(コイズミ・ライティング・オペレーション・スタジオ)は、LED照明の最適化提案や最新の技術紹介など、お客様との双方向コミュニケーションを通じて課題解決するイノベーションの「場」。外光をブラインドとデザインウォール(カーテン)で制御し、施設内の表情を変えることで施設全体で光のあり方を表現することができます。



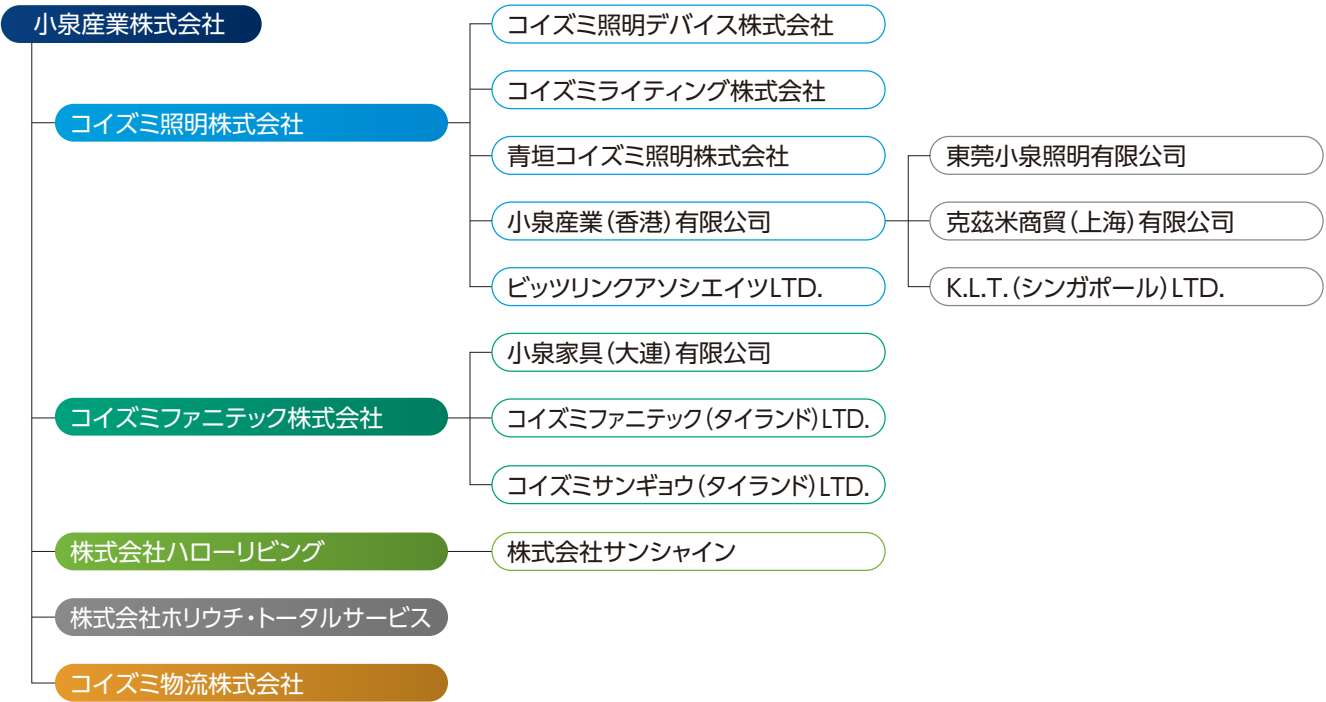
2015 どこでも、いつまでも使える新スタイル  
STUDY UP DESK

業界標準となった学習デスク「ステップアップデスク」の発売から10年。人々の生活習慣に合わせた学習デスクとして開発したのがSTUDY UP DESKです。リビング・ダイニングから使い始め、子ども部屋・書斎まで最適なスタイルが選べて、大人になってもずっと使えるデスクです。



小泉産業グループ各社の概要

小泉産業グループ 2016年度 小泉産業グループの体制



| 小泉産業株式会社                       |
|--------------------------------|
| 商 号 小泉産業株式会社                   |
| 本社所在地 〒541-0051 大阪市中央区備後町3-3-7 |
| 代 表 者 代表取締役社長 梅田 照幸            |
| 創 業 1716年(享保元年)                |
| 設 立 1943年6月25日                 |
| 資 本 金 1,575百万円                 |
| 従 業 員 80名(単体)                  |
| 事業内容 持株会社                      |
| 子 会 社 17社(うち連結対象 10社)          |
| 売 上 高 2,513百万円(単体)             |

| コイズミ照明株式会社                     |
|--------------------------------|
| 商 号 コイズミ照明株式会社                 |
| 本社所在地 〒541-0051 大阪市中央区備後町3-3-7 |
| 代 表 者 代表取締役社長 梅田 照幸            |
| 設 立 2006年4月1日                  |
| 資 本 金 450百万円                   |
| 従 業 員 638名                     |
| 事業内容 照明器具の企画・開発・製造・販売          |
| 売 上 高 35,062百万円                |

| コイズミ照明デバイス株式会社                                  |
|-------------------------------------------------|
| 商 号 コイズミ照明デバイス株式会社                              |
| 本社所在地 〒559-0031 大阪市住之江区南港東8-4-47 プロロジスパーク大阪5 3階 |
| 代 表 者 代表取締役社長 梅田 照幸                             |
| 設 立 1981年6月8日                                   |
| 資 本 金 10百万円                                     |
| 従 業 員 22名                                       |
| 事業内容 LED用部材・電子安定器・ランプ・他照明器具構成部品の販売および輸出入、照明器具組立 |
| 売 上 高 10,989百万円                                 |

| コイズミライティング株式会社                   |
|----------------------------------|
| 商 号 コイズミライティング株式会社               |
| 本社所在地 〒529-1512 滋賀県東近江市大塚町1289-2 |
| 代 表 者 代表取締役社長 吉田 卓               |
| 設 立 1966年10月20日                  |
| 資 本 金 100百万円                     |
| 従 業 員 121名                       |
| 事業内容 照明器具の製造                     |
| 売 上 高 4,370百万円                   |

| 青垣コイズミ照明株式会社                         |
|--------------------------------------|
| 商 号 青垣コイズミ照明株式会社                     |
| 本社所在地 〒669-3841 兵庫県丹波市青垣町 口塩久町田733-5 |
| 代 表 者 代表取締役社長 谷垣 正則                  |
| 設 立 2010年4月5日                        |
| 資 本 金 80百万円                          |
| 従 業 員 114名                           |
| 事業内容 照明器具の製造                         |
| 売 上 高 2,804百万円                       |

| 小泉産業(香港)有限公司                                                                |
|-----------------------------------------------------------------------------|
| 商 号 小泉産業(香港)有限公司                                                            |
| 本社所在地 Units A-B, 26th Floor, 8 Hart Avenue, Tsimshatsui, Kowloon, Hong Kong |
| 代 表 者 董事長 中島 誠一                                                             |
| 設 立 2002年3月11日                                                              |
| 資 本 金 HK\$6,548,000                                                         |
| 従 業 員 9名                                                                    |
| 事業内容 照明器具の企画・開発・製造・販売                                                       |
| 売 上 高 HK\$188,545,588                                                       |

| 東莞小泉照明有限公司                                                                                                            |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 商 号 東莞小泉照明有限公司                                                                                                        |
| 本社所在地 No.12, Information & Industry Garden, Xihu District, Shilong Town, Dongguan City, Guangdong Province, P.R.China |
| 代 表 者 董事長 中島 誠一                                                                                                       |
| 設 立 2009年7月20日                                                                                                        |
| 資 本 金 RMB3,462,316                                                                                                    |
| 従 業 員 183名                                                                                                            |
| 事業内容 照明器具の開発設計・組立製造・販売                                                                                                |
| 売 上 高 RMB135,919,794                                                                                                  |

| 克茲米商貿(上海)有限公司                                                   |
|-----------------------------------------------------------------|
| 商 号 克茲米商貿(上海)有限公司                                               |
| 本社所在地 RM1105, Tower NO.440, Zhong Shan RD.(S.2) Shanghai, China |
| 代 表 者 董事長 杉本 健                                                  |
| 設 立 2006年11月15日                                                 |
| 資 本 金 RMB2,936,976                                              |
| 従 業 員 53名                                                       |
| 事業内容 照明器具の企画・販売他                                                |
| 売 上 高 RMB78,399,815                                             |

| K.L.T.(シンガポール)LTD.                                                |
|-------------------------------------------------------------------|
| 商 号 KOIZUMI LIGHTING TECHNOLOGY (SINGAPORE) CORPORATION PTE. LTD. |
| 本社所在地 10 Anson Road #17-06 International Plaza, Singapore 079903  |
| 代 表 者 代表取締役 中島 誠一                                                 |
| 設 立 2014年12月1日                                                    |
| 資 本 金 SGD400,000                                                  |
| 従 業 員 3名                                                          |
| 事業内容 照明器具の企画、販売                                                   |
| 売 上 高 SGD1,735,416                                                |

| ビッツリンクアソシエイツLTD.                          |
|-------------------------------------------|
| 商 号 BIZLINK ASSOCIATES (S) PTE. LTD.      |
| 本社所在地 41 Ubi Crescent Singapore 408588    |
| 代 表 者 DIRECTOR(CEO) Dave Wee              |
| 設 立 1994年8月11日                            |
| 資 本 金 S\$1,000,000                        |
| 従 業 員 30名                                 |
| 事業内容 照明器具、ランプ、照明器具部品の輸出入販売。照明デザインおよび電気工事。 |
| 売 上 高 S\$11,528,485                       |

| コイズミファニテック株式会社                                 |
|------------------------------------------------|
| 商 号 コイズミファニテック株式会社                             |
| 本社所在地 〒550-0011 大阪市西区阿波座2-1-1 大阪本町西第一ビルディング 2階 |
| 代 表 者 代表取締役社長 川上 隆司                            |
| 設 立 2006年4月1日                                  |
| 資 本 金 100百万円                                   |
| 従 業 員 93名                                      |
| 事業内容 学習環境家具および介護機器等の企画・開発・製造・販売                |
| 売 上 高 6,434百万円                                 |

| 小泉家具(大連)有限公司                                                   |
|----------------------------------------------------------------|
| 商 号 小泉家具(大連)有限公司                                               |
| 本社所在地 12/F, Senmao Building, 147 Zhongshan Road, Dalian, China |
| 代 表 者 董事長 川上 隆司                                                |
| 設 立 2010年5月5日                                                  |
| 資 本 金 HK\$210,000                                              |
| 従 業 員 5名                                                       |
| 事業内容 学習環境家具・インテリア雑貨の小売・卸売                                      |
| 売 上 高 2,987千円                                                  |

| コイズミファニテック(タイランド)LTD.                                                          |
|--------------------------------------------------------------------------------|
| 商 号 コイズミファニテック(タイランド)LTD.                                                      |
| 本社所在地 15/2 Moo1, Tambol Tangkween Amphur Klaeng Rayong Province 21110 Thailand |
| 代 表 者 代表取締役社長 土居 和彦                                                            |
| 設 立 1981年7月2日                                                                  |
| 資 本 金 THB30,000,000                                                            |
| 従 業 員 200名                                                                     |
| 事業内容 家具(テーブル、椅子)の製造・販売                                                         |
| 売 上 高 THB74,611,171                                                            |

| コイズミサンギョウ(タイランド)LTD.                                               |
|--------------------------------------------------------------------|
| 商 号 コイズミサンギョウ(タイランド)LTD.                                           |
| 本社所在地 26th Floor ITF Tower・140/64 Silom Road Bangrak Bangkok 10500 |
| 代 表 者 代表取締役社長 宗本 邦嗣                                                |
| 設 立 1995年5月24日                                                     |
| 資 本 金 THB5,000,000                                                 |
| 従 業 員 9名                                                           |
| 事業内容 家庭用家具・店舗用家具・特注家具・店舗用仕器の企画・開発・製造・販売                            |
| 売 上 高 THB61,506,753                                                |

| 株式会社ハローリビング                   |
|-------------------------------|
| 商 号 株式会社ハローリビング               |
| 本社所在地 〒579-8025 大阪府東大阪市宝町12-5 |
| 代 表 者 代表取締役社長 石尾 泰裕           |
| 設 立 1981年7月2日                 |
| 資 本 金 20百万円                   |
| 従 業 員 29名                     |
| 事業内容 住宅設備機器の販売・取付工事           |
| 売 上 高 2,129百万円                |

| 株式会社サンシャイン                     |
|--------------------------------|
| 商 号 株式会社サンシャイン                 |
| 本社所在地 〒813-0034 福岡市東区多の津3-7-29 |
| 代 表 者 代表取締役社長 石尾 泰裕            |
| 設 立 1975年7月1日                  |
| 資 本 金 10百万円                    |
| 従 業 員 16名                      |
| 事業内容 住宅設備機器の販売・取付工事            |
| 売 上 高 792百万円                   |

| 株式会社ホリウチ・トータルサービス                |
|----------------------------------|
| 商 号 株式会社ホリウチ・トータルサービス            |
| 本社所在地 〒143-0022 東京都大田区東馬込2-19-11 |
| 代 表 者 代表取締役社長 権藤 浩二              |
| 設 立 2003年4月1日                    |
| 資 本 金 70百万円                      |
| 従 業 員 82名                        |
| 事業内容 ホテル、会社施設等への家具・什器・設備等の搬入設置業務 |
| 売 上 高 2,515百万円                   |

| コイズミ物流株式会社                                                            |
|-----------------------------------------------------------------------|
| 商 号 コイズミ物流株式会社                                                        |
| 本社所在地 〒579-8025 大阪府東大阪市宝町12-5                                         |
| 代 表 者 代表取締役社長 権藤 浩二                                                   |
| 設 立 1999年5月25日                                                        |
| 資 本 金 50百万円                                                           |
| 従 業 員 81名                                                             |
| 事業内容 第一種貨物利用運送事業、倉庫業、物流システム開発販売業務、物流コンサルタント業務、引越し・据付業務、その他上記に付帯する関連業務 |
| 売 上 高 5,552百万円                                                        |

※売上高は2015年度実績

## 小泉産業株式会社

発行:2016年7月

〒541-0051 大阪市中央区備後町3-3-7  
TEL.06-6262-1391 FAX.06-6262-1490

<http://www.koizumi.co.jp/>



この印刷物に使用している用紙は、岩手県の森を元気にするための間伐と間伐材の有効活用に役立ちます。



適切に管理された森林で生産された木材を使ったFSC®認証紙を使用しています。



この印刷物は植物油インキを使用しています。



印刷工程では、有害な廃液を出さない水なし印刷方式で印刷しています。